



関東支部夏季総会（H7・7・21）

富村	染谷	長谷川	佐敷	丸山	玉置	吉岡		
	北川	前田	鈴木		村田	岩切	阿部	山田
		小原	山口	小山	関山		田	



関東支部忘年会（H7・11・29）

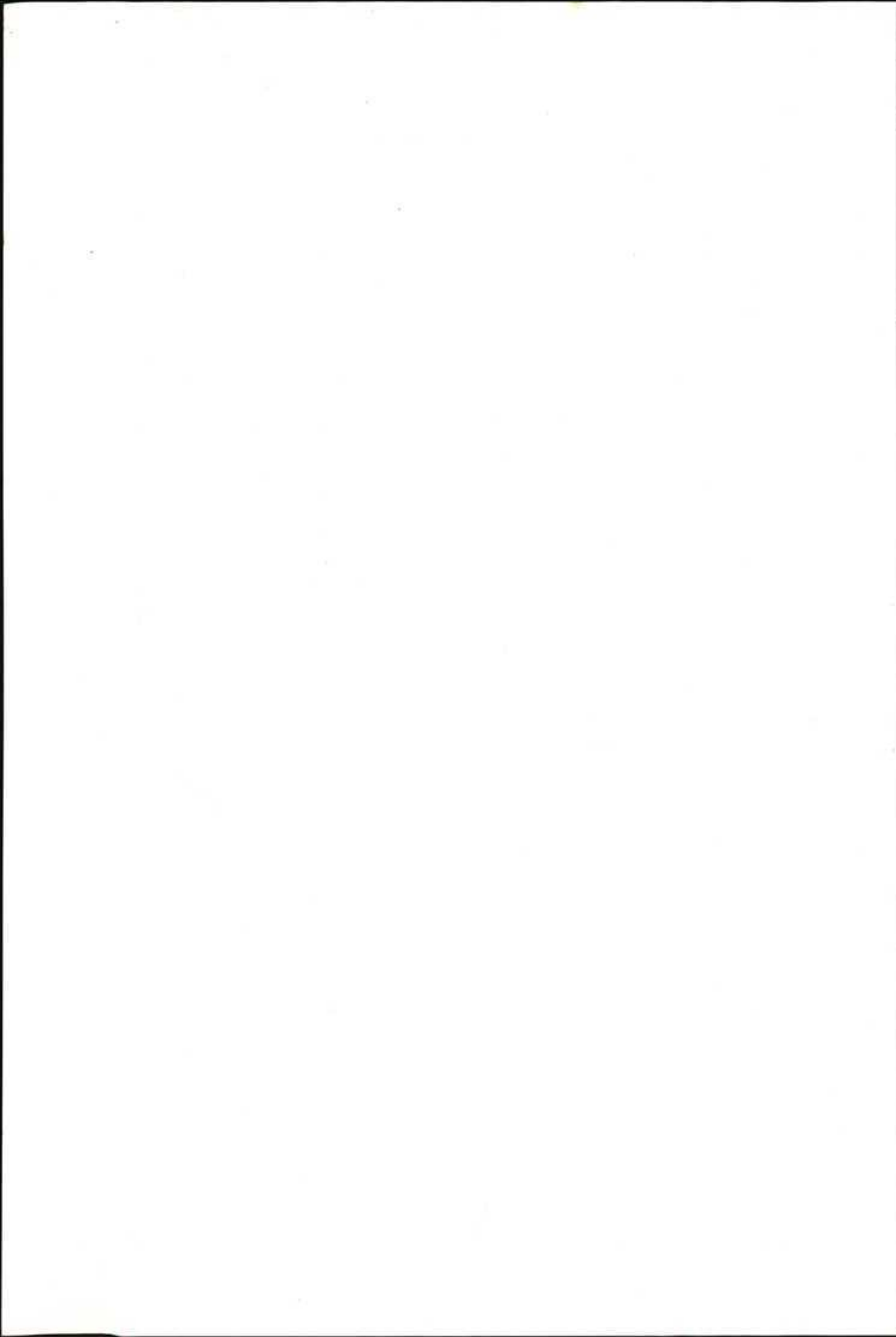
富村 北川 岩切 後藤 荒井 佐敷 吉岡

井上 宮部 村田 黒田 細田 阿部

田淵 小原 関山 小山 草野 山口 平井



関西地区忘年会（H7・12・5）



# 目 次

(表紙題字 藤井正太郎先生)

平成7年度 凌泳会総会並びに懇親会	----- 幹事長 昭37工	萩原 武	2
平成8年度 凌泳会役員			6
月見の宴			7
初 泳 ぎ			7
〔会員寄稿〕			
追 悼			8
「池谷俊一兄を偲ぶ」	----- 昭11学	古賀克己	8
「友繁忠男君を偲ぶ」	----- 昭30法	村田邦夫	9
〔支部だより〕			
関西地区忘年会について	----- 昭60法	坂田純孝	10
関東支部夏期総会及び忘年会	----- 支部長 昭30営	田淵五郎	10
〔会員からのお便り〕			
凌泳会総会案内状返信より			12
月見の宴返信より			19
⑦ 「一つの連帯」	----- 昭30工	堂本直正	28
〔マスターズコーナー〕			
*95各種大会成績			29
*95日本短水路大会他			30
小山氏 *94年度世界マスターズ10傑に入賞			32
〔現役部員寄稿〕			
今シーズンに向けての決意			
まとまったチームづくりを	----- 主将	中尾 順一	33
円滑な運営とは	----- 主務	梅本 哲矢	34
結果を出すために	----- 競技主任	福岡 達信	34
昇 格	----- 水球主任	井村 大智	35
卒部の辞	----- 平成8年度卒部者一同		36
現役部員紹介	----- 2回生一同		43
1995年度活動報告			50
自己ベスト一覧表			69
歴代10傑表			71
会員異動			76
編集後記			78

## 平成7年度凌泳会総会並びに懇親会

〈総会の部〉

日 時 平成7年5月27日(土) 午後13時より

場 所 六甲台 教官食堂

出席者

犬童 一男(部長)	古賀 克己(昭11)	吉野 栄(昭15)	岡本 忠男(昭17)
石井 義章(昭27)	山本 幸雄(昭27)	橋本 力(昭30)	堂本 直正(昭30)
富岡 道雄(昭31)	萩原 武(昭37)	長谷川 健(昭49)	金 一波(昭58)
谷水 利行(昭59)	中川 善雄(昭62)	中塚 泰弘(昭63)	甲野 賢(昭63)
守沖 敦(平1)	武田 直子(平6)	——	は懇親会出席

震災の傷跡も痛々しい六甲台教官食堂に犬童先生、吉野会長、岡本副会長以下15名の会員の出席を得て、総会が開催されました。

未だ阪急、阪神の不通区間が残る不便な交通事情の中、わざわざ出向いて下さいました古賀大長老はじめ会員各位には紙面を借りまして厚くお礼申し上げます。また岡本副会長には公務の合間をぬって駆けつけて下さいました。有難うございました。

開会に先立ち、今震災の犠牲となられた神大関係者44名の御霊に全員で黙祷を捧げた。

吉野会長挨拶

震災被害に遭われた会員・学生の皆様には心からお見舞い申し上げます。本会が会員間の連絡並びに援助に役立つことはたいへん結構なことである。ハンディキャップを跳ね返して今年も皆さんの力強い活躍を願っている。

犬童部長挨拶

昨年この席でプールのリプレース計画について報告したが、この震災によって話はいったんフリ出しに戻ってしまった。建物こそ残ったものの、研究施設、書籍、資料の破損被害は莫大で建物修繕と研究・教育施設の復旧が優先され、大学にプールは1つでよいと言う意見が支配的で課外活動用途は二の次となり、教育実習・学生レクリエーション用途をメインに計画を練り直すことになった。

このためプールは発達科学部(前教育学部)の現設備をベースに今年秋の概算要求提出に向けて学生課と施設課がこれから作業を進めることになる。

現発達科学部プールは総合グラウンドの北側にあり地理的にはそれほど不便ではないが限られた

意見表明の機会の中で出来る限り水泳部の利用の便が得られるように努力するつもりである。

質疑・意見・希望：水泳部単独でプールを所有することは無理との割り切りが必要であろう。場所が不便でなければよしとせざるを得まい。旧三商大戦など他校招待時に恥ずかしくない施設と利用環境が一日も早く実現するよう犬童先生にお願い申し上げ水泳部・凌泳会としても学生課、施設課へのコンタクトを心掛ける。

## 議 事

### 1. 平成6年度凌泳会活動報告並びに会計報告（萩原幹事長、武田会計幹事）

1) 会費自動引き落とし制度の導入：初年度74名の賛同者を得て無事スタートした。

コストパフォーマンス上は80名以上の賛同者が必要であり引き続き勧誘努力要。

2) 阪神大震災アンケートおよび義援金募集：アンケート結果詳細は凌泳誌記載通り。被災者全員にアプローチできずお詫びしたい。また郵便事情混乱のため届かなかったケースもあったようである。ご容赦の程お願い申し上げる次第。

5月20日現在50万円を越える義援金が寄せられている。ご厚意に厚く感謝する。

本日別議題にてその運用方法について相談したい。

3) 地下鉄サリン事件での会員被災：昭48の佐敷君が至近位置にて遭難されたことが同期の長谷川君から報告された。報告によれば佐敷君は犯人の目前に立っていてガスを吸わされとっさの判断で新鮮な空気を吸おうと上部に向かって逃げた由。もう1秒遅ければ助かっていたそうで、警察病院にかつぎ込まれ適切な処置が受けられたことも幸いして意識不明状態から辛うじて脱出、3週間後には職場復帰できるまで回復された。

4) 会計報告および予算案：加地会計幹事の献身的な努力と小柳主将、河原主務以下現役諸君の協力のおかげで、会費・寄付金収入は予算を大幅に上回り納入率は77%に達した。これは住所不明、海外居住者など徴収不能者を除くとほぼ100%に近く、改めて各位のご努力に感謝する次第である。

なお会計報告については6月22日三宅監事の監査を受けたものである。

加地会計幹事は司法試験のため本日は欠席され、また本日をもって辞任されるため報告は次期会計幹事の武田さん（平4）から行われた。

雑収入の予算／実績差は利子算入時期が4月のため実績計上出来なかったため。

通信交通費のオーバーは自動引き落とし制度導入関連の通信費が増えた結果。

一時立替金は凌泳誌に詳細説明した通り、旧三商大戦総合優勝杯の弁済出費であり今年と来年の2回分割で返済される予定である。

今年度予算については寄付金収入を義援金募集を含む震災影響を考慮し減額計上支出面では事務印刷費を名簿不要により減額、新たに銀行振替制度導入経費を計上した。本件異議な

く承認された。

## 2. 平成6年度水泳部活動報告並びに会計報告(小柳主将、河原主務)

1) 競泳・水球とも主力メンバーの卒業による戦力低下著しく戦績において見るべきものがなかったのは誠に残念である。今年早々の震災による練習制約が新たなハンディキャップとなるが、新幹部のリーダーシップと部員一丸となつてのチームワークに期待したい。

### 2) 震災の被災状況:

プール: 底の異常はなかったが側壁の亀裂がかなり目立っていた。学生課に連絡し、専門業者への発注では補修に数カ月を要するため学生課の了解を得て現役の手で補修を終え、現在練習可能な状態にある。

ロッカールーム: 窓ガラスとドアの破損、屋根瓦の脱落。鍵がかからないため盗難被害も発生しており、早急に修理してほしい。

部員被災状況: 別紙の通り。

3) 平成6年度会計報告ならびに平成7年度予算案が別紙により説明および提案され原案通り承認された。凌泳会からの援助金は昨年通り90万円である。

4) 新幹部紹介: 例年7月に実施されてきた新旧幹部交代が今年から4月に行われることになり平山主将、中村主務、諫山競泳主任、大場水球主任が紹介された。

シーズン途中での幹部交代は問題が多くシーズンを通じて責任を持つ今回の措置は歓迎されるものと思われる。

## 3. 義援金の活用方法

水泳部活動報告についての質疑を含め、義援金の活用方法について会員のご意見をいただいた。

1) プールの保安責任については吉野会長はじめ多くの会員から心配意見あり。

学生課への状況報告にぬかりの無いよう、また水位変化の観察を怠らぬよう現役への注文があった。

2) ロッカールームの早急な補修に義援金を活用するよう提案あり。学生課の了解をとった上で修理業者への発注手配をするよう中村主務に要請すると共に支払処理については、幹事長と会計幹事に一任された。

3) 上記のほか民間プール借用費・交通費・備品購入等水泳部活動費、部員緊急援助についての援助要請に直ちに応じられるよう幹事長と会計幹事は中村主務との連絡を密にする。

## 4. 役員交替

長年幹事長そして凌泳誌編集幹事として本会の運営に尽くしてこられた石井義章氏から凌泳誌編集幹事を吉田不二彦氏(昭60)に引き継ぐことが表明された。

今後吉田氏による新たな編集方針の下に凌泳誌が発行されることになった。

前述の通り、見事な手腕で本会財政を立て直した加地会計幹事から武田さんへの交替が承認された。吉野会長から新プールの完成までは続投しようと思っていたが今日の話ではかなり時間が掛かりそうなのでバトンタッチも考えたい、との発言あり。また本日は勤務にて欠席の三宅監事からも会計監査の折、若い人に引き継ぎたいとの申し出あり。これらの問題を併せて岡本、田淵両副会長とよく相談し来年の議題とさせていただきますとした。

#### 5. 70年史贈呈

石井幹事の主旨紹介に続いて吉野会長から小柳主将、河原主務、松井凌泳編集担当に対して70年史が贈呈された。

以上で総会を終了し、途中建物に残る震災の傷跡を見ながら懇親会場に移動。

#### 〈懇親会の部〉

会場を学生食堂に移し、現役との交流懇親会を開催した。

今年も元気ハツラツの古賀大長老の音頭で乾杯、OB・現役混席にて和気あいあいのにぎやかなパーティー。幹事の気苦労もこの席の皆さんを拝見すると吹き飛んでしまう。願わくはもう少し会員の参加がいただければと思う。

富岡氏からの毎年変わらぬ手厚い差し入れに感謝し、震災の無事を喜び合い、成績不振だった昨年の幹部を慰め、労をねぎらい、新幹部を励まし、いついしか時は過ぎ去って石井義章氏の音頭で万歳で締めくくって今年の総会は終了した。

(萩原記)



## 平成 8 年度 凌泳会役員

会 長	吉 野 栄 (昭15学)	
副 会 長	岡 本 忠 男 (昭17学)	田 淵 五 郎 (昭30管)
監 事	三 宅 林 (昭21学)	小 原 祥 男 (昭29管)
幹 事 長	萩 原 武 (昭37工)	
幹 事	佐 藤 一 夫 (昭30法)	富 岡 道 雄 (昭31管)
	岡 田 重 義 (昭37管)	上 田 剛 弘 (昭56管)
凌泳編集担当	吉 田 不 二 彦 (昭60管)	
現役監督担当	金 一 波 (昭59経Ⅱ)	
会 計 担 当	松 下 直 子 (平 6 文)	
名 誉 順 問	小 山 賢 之 助 (昭 7 学)	
順 問	山 口 宗 樹 (昭16学)	

### 支 部 幹 事

(関東) 支部長	田 淵 五 郎 (昭30管)	
	黒 田 英 雄 (昭35管)	林 莊 八 郎 (昭38経)
	佐 敷 定 雄 (昭49農)	三 好 岳 (昭62法)
	富 村 英 三 (平 5 管)	
(中部) 支部長	手 嶋 忠 之 (昭41理)	
(中国) 支部長	今 井 政 一 (昭24専)	
(四国) 支部長	中 村 市 治 (昭15学)	
(九州) 支部長	印 藤 勝 美 (昭18学)	
(関西) 支部長	佐 藤 一 夫 (昭30法)	
京都	柳 本 正 雄 (昭37管)	
阪神	橋 本 力 (昭30工)	桑 本 万 里 (昭55教)
姫路	山 口 仁 郎 (昭32管)	

### 運 営 委 員

三 宅 林 (昭21学)	石 井 義 章 (昭27学)
富 岡 道 雄 (昭31管)	岡 田 重 義 (昭37管)
丸 山 昱 也 (昭40工)	玉 置 明 (昭45経)
長 谷 川 健 (昭49経)	平 石 康 (昭53教)
金 一 波 (昭59経Ⅱ)	甲 野 賢 (平 1 理)
染 谷 光 裕 (平 4 理)	

## 月 見 の 宴

今年度の月見の宴は、9月23日に六甲台プールで行われた。前期のテスト期間中であったため、しばらく会っていなかった部員達も全員集合することになった。

例年どおりの競泳の記録会、OB・現役対抗の水球戦、競技の後は、恒例のプールサイドコンパが催されたが、今年のコンパは甲野さんの結婚式の二次会も兼ねる形となったため大いに盛り上がった。

戦績報告、OBの方々からのお言葉があったが、今年もOBの方々からの激励やお叱りを受け、今シーズンを振り返って部員それぞれが来年にける思いを胸にシーズンを終えた六甲台プールを後にした。

(中村洋平記)

出席者 不明

## 初 泳 ぎ

阪神大震災という過去に例をみない災害を受けた平成7年が終わり、平成8年も明けて間もない1月7日に、住吉の兵庫県立健康センタープールにおいて初泳ぎが行われた。

初めに練習を行ってウォームアップした後、記録会に移ったが、好タイムを出す者等、なかなかのものだった。記録会終了後、懇親会では部員各自の今年度の抱負を発表し、OBの方々から一言ずつお言葉を頂いた。

「1年の計は元旦にあり」と言うが、我々にとっては

「1年の計は初泳ぎにあり」であり、夏に向けてはりきって行こうと決意を新たにしたのだった。

(梅本 記)

出席者

萩原 武(昭37)	金 一波(昭56)	川原 田貢(昭61)	松下 直子(平6)
竹田 匡志(平7)	小柳 勝義(平8)	磯山 正則(平8)	河原 知成(平8)
北中 宏一(平8)	長野 稔(平8)		

## 追 悼

平成7年度、下記の方々がお亡くなりになりました。ここに謹んでご報告し、皆様と共にご冥福をお祈り致したいと存じます。

### 記

御 尊 名	卒 業 年 次	御 命 日
田 代 菊 太 郎 様	大正14年	平成7年4月6日
池 谷 俊 一 様	昭和10年	平成7年6月13日
友 繁 忠 男 様	昭和30年	平成8年2月8日

### 追悼の文

#### 「池谷俊一兄を偲ぶ」

(昭11) 古 賀 克 己

水泳部(凌泳会)の池谷俊一兄がご逝去になられたこと心から哀悼の意を表します。

兄は学部4回で私より1年先輩でした。

昭和8年春私は佐賀高校から入学しましたがそれ迄佐賀の田舎町の自宅通学で過ごしてきたので全くの「いなか者」でした。それが紹介された郷土出身の人を頼りに上阪し上筒井の寮生活でしたから水泳部の合宿は苦にならず池谷兄らと「苦楽」を共にしました。

池谷兄は福島高商出身で、神戸商業大学入試という激しい難関を突破してこられた秀才でした。温厚な中背の丸顔で拳担おっとりした調子の、話しぶりも激した高声ではなく和やかな口調で学生紳士という風でした。水泳そのものも激しい闘争心はあまりみられなかったように思うのは性格を知っているからでしょうか。ともかく後輩の私らには親しみ易い仲間に思われました。

私にしてみれば九州の田舎から突然に大都会に出てきた生活環境の変化にとても順応できずただ他動的に打過すだけでした。そんな頃に水泳試合が終わって神戸の街で打上げてほろ酔い機嫌で一緒に歩いていたがどんないきさつか忘れたけれど池谷兄が福原を案内してくれたことを覚えています。

顧みればこれらのことは兄も私も共に若かった60年も前のことですが長いようで短かかったこの期間に池谷兄ともっと誼を深くして昔日を語り合えばよかったと悔やまれます。

さり乍ら平和で自由なよき時代、戦時と戦争体験、戦後の窮乏時代、復興働きを勝ち時代、ハイテク矚目時代、ついていけない時代、超然傍観自分のペースでわが道を行く現在に至る過程を、時に古い日記から回想してみるのも懐かしいものです。昭和9年初夏に大学が神戸上筒井から六甲へ

移轉して白く輝く立派なプールで池谷兄らと泳いだ頃の楽しかったことは忘れられないでしょう。池谷兄は親しみ易いよい先輩でした。

## 「友繁忠男君を偲ぶ」

(昭30) 村田邦夫

2月9日の夜突然九州の溝口君から電話がかかり、友繁君が亡くなったとの知らせを受けた。ついこの間、年末の凌泳会の忘年会に、一緒に出席しないかと誘ったところ、丁度その日は所用があり、都合がつかないが、次回には是非共出席するというので相変わらずの元気な声を聞いたばかりであっただけに、大いに驚かされた。

奥様の話では、2月7日夕刻、庭に散水していたところ急に倒れ、救急車で病院に運ばれたが意識を回復せぬまま、蜘蛛膜下出血で2月8日未明亡くなられたとの事であった。64才の余りにも早い逝去に、何ともいいようのない淋しさを感じさせられた。

彼は生来非常に明るい、面倒見のよい性格で、ひげが濃く、色が若干浅黒い所から通称「いも」とあだ名され、何時もにこにこ水泳部の仲間の面倒を見てくれていた。水泳部には、高校時代からの友達であった溝口君や私が水泳部にいるということで2年生から入部したが、何時も彼の大きな笑い声がプールサイドで響き、楽しい仲間の環ができていた。卒業後は丸紅に入社し、学校時代に第二外国語として中国語をとっていた関係もあり、外国では主として東南アジアを中心に勤務していたが、何時も持前の馬力と朗らかさで、友達に会うと明るい話をしていたのが印象的だった。

丸紅を卒業したあと芙蓉航空サービスに勤め、一昨年からは戸塚で奥様と二人の暮らしになられたが、娘さん二人もそれぞれ結婚され、いいおじいさん振りを發揮しておられた。生来スポーツマンだった彼はゴルフが中々上手で、これからは、水泳は教えられないがゴルフなら教えてやるなどと言って仲間と大いに旧交を暖めあおうと相談していた矢先の出来事であった。溝口君がお葬式の弔電に、「残念だ。皆と一緒にゴルフがしたかったのに」と言ってよこしてくれていたが、何か心の片すみに穴のあいたような淋しさを感じる。

彼は血圧もそれ程高くはなく、常々85才ぐらいまでは生きるなどと言っていたようだが、100才の父上と92才の母上を残して、末っ子の彼が急逝することになるとは、家族の方々をはじめ、友達の誰一人として考えてもいなかっただけに大いにショックであった。

本人自身もまだあの世に行っているのかどうかかわからないのではないかとさえ思えるが、どうか心安らかに眠って下さい。

## 〔支部だより〕

### 関西地区忘年会について

(昭60) 坂田 純 孝

毎年神戸と大阪で交互に開催している忘年会で今年は順番からすれば神戸の番、しかも震災後ということもあり「今年はどうしても神戸でやりたい。」として準備にかかった。しかし、“震災後で営業している店数が少なく場所が確保できないのではないか”とか“被災されたOBはそれぞれではなく参加いただけないのではないか”など最初は不安材料の方が多かったのだが、場所は富岡先輩のおかげで確保でき（どうもありがとうございました。）12月15日の金曜日に神戸三宮の櫛茶屋でなんとか開催できることとなった。事前の出欠確認ではOB、現役合わせて29人。こんなもんかと臨んだが、蓋を開けてみると結局40人近くになり盛況であった。

会話の内容はやはり震災に関したものが多く、例年のような河童談義とは若干趣が違ったものになっていたようであった。そのなかで、たまたま出張で関西に出てきておられた佐敷先輩に出席いただき、地下鉄サリン事件で直接被害に遭われた話をしていただいたことが非常に大きなアクセントとなった。このようにこの日の話の中身は決して明るいものではなかったが、OBと現役の共通の話題が水泳以外にもありかなりの盛り上がりとなった。

参加いただいた皆さん、どうもありがとうございました。

〈当日の出席者〉

吉野 栄 (昭15)	岡本 忠男 (昭17)	山本 幸雄 (昭27)	石井 義章 (昭27)
岡澤 幹夫 (昭29)	橋本 力 (昭30)	佐藤 一夫 (昭30)	堂本 直正 (昭30)
富岡 道雄 (昭31)	萩原 武 (昭37)	佐敷 定雄 (昭49)	大林 良和 (昭55)
上田 剛弘 (昭56)	山本 隆 (昭56)	吉田不二彦 (昭60)	南谷 昌宏 (昭60)
池邊 正雄 (昭60)	坂田 純孝 (昭60)	川原田 貢 (昭61)	中川 善雄 (昭62)
甲野 賢 (平元)			

平山主将以下現役三回生12名

合計34名他2～3名

### 関東支部夏期総会及び忘年会

(昭30) 田 淵 五 郎

〈平成7年7月21日 出席者〉 計22名 (敬称略)

小山賢之助 (昭7)	草野 嘉一 (昭7)	山口 宗禱 (昭16)	井川 俊夫 (昭20)
関山 道雄 (昭28)	小原 祥男 (昭29)	田淵 五郎 (昭30)	村田 邦夫 (昭30)

丸山 卓也 (昭38)	鈴木 剛弘 (昭38)	前田 和秀 (昭40)	阿部 洋三 (昭42)
玉置 明 (昭45)	岩切 博 (昭46)	佐敷 定雄 (昭49)	北川 敏行 (昭51)
長谷川泰造 (昭58)	染谷 光裕 (平4)	富村 英三 (平5)	山田 基洋 (平6)
吉岡 晋一 (平6)	藤川 壮太 (平7)		

〈平成7年11月29日出席者〉 計20名 (敬称略)

小山賢之助 (昭7)	草野 嘉一 (昭7)	山口 宗禱 (昭16)	平井 洋 (昭16)
関山 道雄 (昭28)	小原 祥男 (昭29)	田淵 五郎 (昭30)	村田 邦夫 (昭30)
細田 忠雄 (昭33)	黒田 英雄 (昭35)	荒井 康之 (昭38)	宮部 高博 (昭42)
阿部 洋三 (昭42)	井上与志男 (昭49)	岩切 博 (昭46)	佐敷 定雄 (昭49)
北川 敏行 (昭51)	後藤 信人 (昭54)	富村 英三 (平5)	吉岡 晋一 (平6)

春頃体調を崩された小山先輩も、秋にはハワイのマスターズに参加されるほど復調、草野先輩は暑さにめげず、8月にチュニジアに旅行される壮健ぶり。山口・平井・井川諸先輩は、広い交友の輪・創作活動・趣味の研究などで、毎日ご活躍の模様。

阪神大震災の直接の被害者は余りいなかったが、3月20日の地下鉄サリン事件では、佐敷君が九死に一生を得た。小伝馬町駅であと4秒車内にいたら死んでいたそうで、担ぎ込まれた警察病院の処置も良くて幸いしたらしい。その後体調不良を押して参加してくれた5月の凌泳ゴルフコンペで、何と佐敷君が優勝してしまった！ 更に11月のマスターズで100バタ1分8秒のベストを出したという報告があって、サリンの功罪(?)が一段と話題になった。

なお、マスターズには出ていないが、若い人たち数名は、毎夏の東京都実業団水泳には参加しているよう。



# 会員からのお便り

## 凌泳総会案内状返信より



岸 権 夫 (特)

幹部の方々には総会、義援会のことなどいろいろとお世話を願っています。当日、他の公務と重なり欠席します。ご出席の方々によりしくお伝え下さい。ご盛会をお祈りしています。

草 野 嘉 一 (昭7学)

幹事諸兄、諸姉、色々ご苦勞様です。

板 野 龜八郎 (昭9学)

本年は1月の阪神大震災を始めサリン事件それに関わるAUM関係の長期にわたる大捜査と不安な気持ちを捨て切れない状態が続いていますが、水泳部の御一同はシーズンが近づいた折りから不快な事件を忘れ、精一杯水泳に励んでください。貴地でも尋ねたいのですが、未だその機を得ません。

古 賀 克 巳 (昭11学)

青葉若葉の緑が目には快い水泳の好季となりましたが、新入部員を迎入れて、ますます毎日楽しいことでしょう。大いに泳いで下さい。小生は卒業(1936)から60年近いけれども現在も元気にマスターズ試合にも出場しています。1週間前のお阪(長吉プール)の大会にも泳ぎメダルを貰い、宝塚大会にも出場予定です。生涯続けましょう。

伊 藤 英 二 (昭13学)

去る4月17日、家内が死去致しました。雑事雑多のため欠席致します。同時に後職を退任致したくお届け申し上げます。

大 西 真 博 (昭15学)

災害お見舞申し上げます。復興の原動力はやはり学生諸君のファイトだろうと思ひ、皆様を期待しています。昭和13年夏水害で神戸市が沈んだ時、大学二年生でした。ご健闘を祈ります。突然の直下地震の

- ・恐ろしさ 高速道路も ビルも崩れて
- ・頼もしき 関西人なり いちはやくスーパー開き行列できる

森 芳 夫 (昭16学)

今回の震災で被害を受けられた方に心からお見舞申し上げます。頑張ってください。

岡本 慧夫 (昭16学)

皆様お元気で頑張ってください。

前田 寿 (昭16学)

降りつづく 音と同じ 五月雨

山口 宗樹 (昭16学)

被災の皆様には心からお見舞申し上げます。十分な調査と出来るだけの応援をしてあげる様、  
お願いします。委員の皆様、大変なことで存じますが宜しくお願い致します。

尾上 信三 (昭17学)

平年の御健斗お祈りします。体調の強化安定を計ってください。

井上 清 (昭19学)

被災会員諸兄の消息を大変心配致しております。今回も欠席で相済みません。皆様によろ  
しくお伝え下さい。

山内 利男 (昭19学)

小生のみ東京在住ですが、弟2人、甥、姪など7軒が東灘区に集中被災、その中3軒は住  
居建て直しの羽目。残る4軒も一部損傷まで。一族、再建築に没頭しています。小生も東  
灘区見舞いを重ねています。

三宅 林 (昭21学)

他用のため失礼致します。皆様に何とぞよろしく。辛うじてマスターズは出場しています。

今井 政一 (昭24専)

被災後の新学期大変ですね。しかし助かった若い力は不滅です。新緑と水ぬるむ頃、ダメー  
ジを受けた方々もそれを乗り越えて頑張ってください。被災の方々へのお見舞とお集まりの  
皆様にくれぐれも宜しくお伝えください。

山本 幸雄 (昭27学)

相変わらず元気にすごしております。この度の大地震でも被害軽微で、神仏の御加護に感  
謝しております。久しぶりに総会に出席させて頂きます。幹事の皆様ご苦労させます。

石井 義章 (昭27学)

総会の案内並びに被災状況報告拝受しました。萩原幹事長には公私御多忙の中、細部にわ  
たり万全の御配慮を頂き、感謝に耐えません。震災の被害は幸い軽微に終わりましたが、  
本土に渡る電車がやられ、何とも不便です。島流しの気分で蟄居しております。義援金少々  
送りました。

田 淵 五郎 (昭30学)

震災被害を受けられた皆様には心からお見舞申し上げます。総会に出席できなくてすみま  
せん。マスターズ水泳の方は続けております。

堂本直正（昭30工）

1月に62歳の誕生日を迎え、3月末に会社を引きました。のんびりと暮らしております。今です。当日先輩、同輩、若い方、現役の方々に逢いますことを楽しみにしております。

松田司郎（昭32法）

本年早々より体調をくずし、難儀しております。早々に回復する事と思います。御出席の皆様によろしく。

栄川泰介（昭34経）

五月下旬、家屋の修理が始まる予定、申し訳ないが欠席します。丁度家の中央に小さな断層が生じ、左右高低差20cm開き10cm、前後のズレ10cmあり、基礎から修理する必要あり、床、壁も全部やり直しです。

酒井孝栄（昭36経）

御無沙汰致しております。震災に負けず今年も張り切って好成績を残して下さい。ご健闘をお祈り致します。御出席の皆様によろしく。（出張あり欠席させて頂きます）

高岡保宏（昭37教）

被災された方に心からお見舞申し上げます。

丸山卓也（昭38工）

皆様の御活躍をお祈りしております。

岡田重義（昭37宮）

震災被災地のハンディキャップが小さいとは思いませんが、悔いのない学生生活が過ごせるよう祈念します。被災地復旧・復興にもうひと仕事最後のご奉公をします。

萩原武（昭37工）

学生諸君には震災後の雑事や新入生の勧誘で大変忙しい中、総会準備のためお骨折りいただき有り難うございました。困難を乗り越えてのご活躍を期待しています。頑張ってください。今年もどうかよろしく。

林荘八郎（昭38経）

ご盛会を祈ります。遠方のため欠席します。

安茂弘（昭39工）

阪神大震災で家屋は半壊（修理可能）となりましたが、家族は全員無事でした。4月に入り近くのプールの修理も終わり、マスターズめざしておよぎ始めました。

武政英幸（昭39宮）

機会がなく震災後の神戸をまだ見ていません。神戸を愛する者の一人として一日も早い復旧を願っています。総会のご盛会を祈ります。

中 畑 勝 明 (昭41管)

凌泳会総会は仕事の都合により欠席させていただきます。水泳部の現役の皆様、阪神間在住の水泳部OBの皆様方には阪神大震災による災害や、その後の避難生活等で多大な被害を被られたことと思います。遅ればせながら心からお見舞申し上げます。

手 嶋 忠 之 (昭41理)

この3月、中部地区の支部長であった井上隆史(昭37管)さんより電話があり、「東京に転動したので次期の中部地区の支部長を引き受けてほしい」ということであった。どうして私の様な者(余り活発な凌泳会員でない)がと思いましたが、帰って名簿を見ましたら中部地区の会員の中では私はかなりの年輩者だと判り覚悟した次第です。手始めに凌泳会のマスターズ会員になることにしました。

阿 部 洋 三 (昭42工)

50才(!)を越え体力は落ちる一方の感じですが、なんとか究極のバタフライをと週3回あきずに泳いでいます。神田のYMCAに約30年近くいます。大変泳ぎ良いプールですので東京在住の方にはおすすめです。

得 丸 哲 士 (昭46農)

業務出張中につき出席できず申し訳ありません。皆様によろしくお伝え下さい。

井 上 与 志 男 (昭47法)

阪神大震災には本当に驚きました。2月の初め母親と姉夫婦を見舞(垂水在住で皆無事)に行き、まさしくこれがあの神戸かとその惨状を見るにつけ悲しみにくれました。しかし倒壊した家々の間でボランティアの人々が忙しそうに立ち働いておられるのを見て、神戸に住んでいた小生には心暖まると同時に頭が下がる思いで一杯でした。後輩の皆さん、つらいことが多かったと思うけれど、元気を出して、Do Your Best!

佐 敷 定 雄 (昭49農)

東京地下鉄サリン事件であと4秒同じ場所にいたら死んでました。隣にいた人は亡くなり、小生も救急車で病院に運ばれました。世の中何が起こるかわかりません。神戸地震で小生の須磨区名谷あの家は無事でしたが現役の後輩諸君は大変でしたね。無からのスタート頑張ってください。命があれば何でもできますよね!! 凌泳会の皆様よりサリン中毒のお見舞連絡たくさん頂きました。元気になりました。御心配かけました。よろしくお伝え下さい。

瓜 生 誠 二 郎 (昭50経)

阪神・淡路大震災からの一刻も早い復興を祈念しております。

平 石 康 (昭53教)

震災で被災された方々に深くお見舞申し上げます。私も1月から3月までボランティアとして避難所で寝泊まりしておりました。愛する神戸の悲惨な姿を見るにみかねてやってき

ましたが、4月からは休みの日に少しかがう程度になってきました。少しずつ復興へ歩み続けている神戸の町をずっと応援しつづけたと思っています。皆さん頑張ってください。

We Love KOBE!

後 藤 信 人 (昭54営)

逆境の中での御盛会をお祈り申し上げます。

土 井 祐 二 (昭55法)

紀 子 (昭57教)

色々あって大変でしょうが全員で力を合わせて頑張ってください。

上 田 剛 弘 (昭56営)

幹事の任にありながら毎年出席できず申し訳ございません。只今、震災復旧の仕事に従事しておりますので、当日都合がつきそうにもありません。盛会をお祈りいたしますとともに、今年度の神大水泳部の活躍を期待しております。

後 藤 芳 光 (昭57経)

この度の阪神大震災で被災されました方々に心よりお見舞申し上げます。

日 子 靖 則 (昭57営)

地震で被災された方々には心よりお見舞申し上げます。現役の部員の皆様も何かと大変かと思いますが、是非、これを乗り越えて御活躍下さい。

藤 田 弥 門 (昭57近畿大)

5月27日(土)はラグビーの試合のため、残念ながら欠席いたします。震災で練習が充分できないかもしれませんが、「気合」で頑張ってください。

石 本 日和子 (昭58教)

地震アンケート御苦勞様でした。我家にはつかなかった(?)ようです。実家、我家とともに全壊し、人生最大のピンチの中で生きております。勤務校の子どもも5名が死亡。一時は避難者1500名を数え、現在でも100名の方が居住され、学校教育もナカナカ元に戻りません。昨年のイジメ以来ボロクソに言われ続けた学校ですが、イザとなるとナカナカ頼りになる存在でした。1ヵ月間は家も親も我が子もうちすて泊り込み勤務が続き、現在は少し体調をくずしています。今、切実に欲しいものは、お金と住まいです。でも全員元気です。

田 中 俊 哉 (昭58工)

5月1日の異動により、東京勤務となりました。関東のOBのみなさんよろしくお願いたします。

三 好 岳 (昭62法)

最近の東京はこわいことばかりで、命も危いですが、なんとか無事にやっています。私も30

才になったので、体にガタが来る前にもう一度鍛えようと考えているだけの毎日です。現役の皆さん頑張って下さい。

近 藤 直 明 (昭63営)

震災の影響で3月に予定していた結婚式、披露宴は延期しましたが、入籍は済ませ、妻と新生活を始めました。

近 藤 恵 理 (昭63工)

震災の影響で3月に予定していた結婚式、披露宴は延期しましたが、入籍は済ませ、主人と新生活を始めました。

中 塚 泰 弘 (昭63農)

苦しい時こそ頑張ろう!! OBの期待は常に過大なものです。

甲 野 賢 (平1理)

先の震災で被害をうけられた方々に心からお見舞申し上げます。私は会社の被害のみで助かりましたが、かっぱ天国殿、鳥由殿、道殿、他多数のお世話になった飲み屋の被害に心を痛めています。何より、応援団総部の不幸には言葉が出ませんが、ここは一番、明るく強く復活することが弔いになるのでしょうか。

岡 崎 憲 之 (平2教)

現在、尼崎市の方に避難しています。マンションは罹災照明上は全壊でしたが、なんとか建て替えずに済みそうです。私は食器棚にけんかを売られ、眉間を四針縫ってしまいましたが、幸い妻と子どもは無傷でした。部員の皆さんは色々と不自由な面が多いかと思いますが、頑張って下さい。落ち着いたらまた顔出します。

林 均 (平2工)

大震災で、会員、水泳部学生の方々に大きな怪我が無かったということで、安心しました。家屋倒壊等、被害にあわれた方のお見舞を心から申し上げます。

枝 沢 百合子 (平3教)

1995年4月1日を持ちまして県立芦屋高等学校の英語教諭として勤務することになりました。

柴 田 英 之 (平3農)

震災に遭われた部員並びに会員の方々にお見舞申し上げます。部員各位には練習もままならないとは思いますが、学生生活に悔いを残さないためにも今シーズンも頑張って下さい。なお、私転居いたしましたので、お近くにお寄りの方は御一報下さい。

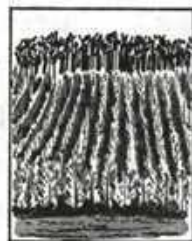
武 田 直 子 (平6文)

いつもお世話になります。私ごとですが7月23日(日)結婚することが決まりました。新しい姓は「松下」です。新住所は追って御連絡いたします。今後とも凌泳会会計幹事とし

て、いろいろお世話になることと思いますがよろしく願いいたします。

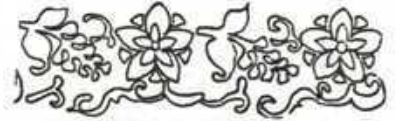
小笠原 恭子（平7営）

新穀に行けなくて申し訳ありませんでした。試合の応援には是非行かせてもらいます。総会当日は、研修2が始まるため出席できません。かさねがさね申し訳ありません。





# 月見の宴



岸 権 夫 (特)

月見の宴のご案内を頂戴しましたが、当日公務出張のため欠席致します。年令相応の老化現象を自覚していますが、元気に動めて居ります。現役諸君の御活躍と月見の宴の御盛会を祈念しています。

三 井 栄三郎 (大14学)

御盛会をお祈りします。

山 田 常 雄 (昭7学)

今年の誕生日(10月26日)に米寿(88才)になります。長く生きたいものです。

草 野 嘉 一 (昭7学)

お蔭様で元気にしております。7~8月は北軽井沢で東京の猛暑を避けました。2~3月にインドネシアへ行きましたが、8~9月には短期チュニジアへ旅行します。

小 山 賢之助 (昭7学)

88才となり、泳力、ガク落ち。残念。

板 野 亀八郎 (昭9学)

阪神大震災の御見舞も兼ね、出席いたしたいのですが、老人二人の生活行動に自ずから制限あります。会の盛況と参加者の御健勝を心からお祈り申し上げます。

池 谷 俊 一 (昭10学)

永い間大変お世話になりました。ありがとうございます。本年6月13日、他界致しました。水泳部御発展を御祈り申し上げます。

古 賀 克 巳 (昭11学)

元気で明治生まれの老人を続けています。生来の怠け性は不変で、あれこれ用事を溜めています。趣味で入った短歌の原稿督促、旅行写真の整理、永年続けている日記のブランク。6月末には高校水泳部主催のスイス・オランダ旅行に参加、成田・ロンドン12時間のフライトにも耐え、まだ大丈夫と自信が持てました。近くのプールへ時には出かけます。21世紀をみたいものです。

前 田 壽 (昭16学)

“暑いなあ、暑い暑いぞ、暑いなあ。”

小 池 三 郎 (昭11学)

月見の宴のご案内ありがとうございました。小生は満84才になりましたが、元気で日常を過ごしております。皆様の御盛会を心から祈っております。

伊藤 英二 (昭13学)

今春四月老妻を亡くし、その前後の期間体調を崩していましたが、大好きな夏に入りすっかり元気になっております。阪神大震災にもめげず頑張ってください。御見舞もできず失礼致しました。

大西 真博 (昭15学)

関東地方も真夏日が33日以上猛暑でした。日射病にかかりそうになりました。でもお蔭様に元気です。水泳していたからだと思い感謝しています。神戸も復興している様で、たのしく思っています。

・外海に 小舟漕ぎ行けば大うねり 波の上にも小波のゆく

山口 宗樹 (昭16学)

この暑さで身近な人がさよならに淋しい思いをしています。震災にめげずご活躍何よりと存じます。

尾上 信三 (昭17学)

震災後の周辺の整地は終わりましたが、再建が進まぬようで落ち着きません。立派な“凌泳”年誌楽しく読みました。晴天続きで毎日泳げましたことでしょう。皆様の御健闘お祈りします。

岡本 忠男 (昭17学)

祭日、日曜日は行事が多くて出席できませんが、次回は出席の努力します。9月は海外に出張します。

守田 謙三 (昭17学)

守田昌弘で手続きしておりましたが在学時に使用していましたが戸籍上の名前「守田 謙三」にもどしていただきたく思います。

荻野 茂希 (昭18学)

何処とって特に悪い所はありませんが、すべての部分で衰えたり欠けたりしています。第一線を退いて久しく、昨今はだんだん社会性にうとくなってゆくようです。毎日殊の外暑いので在宅中はソファーに横になり、本を読んだりテレビを見たり、家人からは「寝たきり老人」とひやかされています。

富中 暁 (昭18学)

今年から「毎日が日曜日」になったので、今迄盆休みせいぜい一週間でしたが、今年は東京の連続真夏日を逃小、8月いっぱい信州で満足でした。9月から相変わらずヘルスクラブでサウナと水泳に励んでいます。

湯山 正三 (昭19学)

地震大変でしたね。頑張ってください。いつもお便りを戴いていますがもう老齡。すべてを

リタイヤ。やむをえないなと思います。

山内利男（昭20学）

9月：インド現地体験集の本を整修し、出版

10月前半：インドからの招待で、インド促進使節団を結成し訪印

後半：日印調査委員会の日印会議で訪印

11月：日印経済委員会の日印会議で訪印

今井政一（昭24専）

殊更に暑い今年の夏、部員各位苦難を乗り越え頑張っておられる事慶賀に存じます。相変わらず失礼致します。

石井義章（昭27学）

8月23日六甲ライナーがJR住吉駅まで復旧し、やっと震災前の交通網に戻りました。しかし阪神高速道は寸断のまま、2号線43号線湾岸高速道は規制が続き、自動車ですら自由には走れるのはいつのことやら……。

山本幸雄（昭27学）

お蔭様で健康には恵まれ、相変わらず元気ですごしております。あの大地震の恐怖も頭の中からどンドンうすれて行くようです。月見の宴は所用のため欠席致しますが、ご盛會を祈念します。

関山道夫（昭28経）

いろいろと遊びを探して忙しく自適の生活を送っています。酒を飲む回数が減ったためかますます元気です。

小原祥男（昭29堂）

元気でやっております。皆様によろしくお伝え下さい。

溝口 汪（昭30堂）

阪神大震災は大変でしたね。御見舞いいたします。我々の時代も戦後で練習するプールがなく魚崎小学校、灘高、川崎プールと借り歩いた事が思い出されます。

堂本直正（昭30工）

御案内ありがたく感謝しますが、当日は墓参の為欠席させて頂きます。今年4月以降Freeの身となり、のんびりと過ごしております。8月末にS.34年卒の前田修氏と山行・テント泊をして旧交を温めてきました。

橋本 力（昭30工）

自分の泳ぐ姿をはじめてビデオで見ました。なるほど、これでは現役時代遅かったはずで

佐藤 一夫 (昭30法)

今年は春の総会市大戦旧三商大戦のいずれにも出席できず最悪の年でした。大震災直後のシーズンであっただけに、現役の諸君にとっては生涯記憶に残る一年になるでしょう。ご苦労さまでした。

松田 司朗 (昭32法)

今年は風邪、大腸ポリープ手術(1~3月)入院・8月骨折水泳練習中と悪い事重なり、未だ何も出来ない状態にて申し訳なし。

高橋 靖周 (昭33経)

ご案内状有難うございました。月見の宴の当日は高校時代の還暦祈念同窓会があり、小生幹事をつとめておりますので出席できません。あしからず。ご盛会をお祈りいたします。なお9月4日からは前学校長新野幸二郎先生が当地に見え、大分凌霜会で「先生を囲む会」を催します。母校の近況が聞けるのを楽しみにしております。

石本 茂樹 (昭33経)

月見の宴の盛会を祈ります。

酒井 孝栄 (昭36経)

30数年の三菱商事を本年3月末で卒業。新しい社会生活を始めました。大好きな中小企業で経営学を実践中です。厳しい環境ながら“楽しく明るく”仕事に励んでいます。

米田 啓祐 (昭37教)

震災の復興のニュースをそれでもほっとしながら聞いております。ますますのご発展を祈ります。

柳本 正雄 (昭37管)

御盛会であります様に祈念にしております。お陰様で元気でまだまだ頑張らせて頂いております。

竹本 忠彬 (昭37管)

残念ながら欠席致します。ご出席の皆様によろしくお伝え下さい。

高岡 保宏 (昭37教)

ご案内頂きありがとうございます。当日所用の為、欠席します。盛会を祈っています。

井上 隆史 (昭37管)

阪神大震災の影響が随所に残るなかで、諸君もシーズンを無事終了されたのは大変良かったと思っております。マスターズスイミングでは今年から55才のランクになったのですが体力的にはガクッと落ちた感じで日頃から節制しないといかんと反省している次第です。

藤岡 治男 (昭38教)

今シーズンの戦績はどうでしたか。大会のご案内等いただきながら失礼ばかりして申し訳あ

りません。月見の宴の盛会を祈ります。

林 荘八郎 (昭38経)

震災があったので水泳部の皆さんも今年は大変ご苦勞があったと思います。月見の宴の盛会を祈ります。遠方の為欠席させていただきます。

窪田 信雄 (昭38法)

2月に四谷から新宿の新しいビルに移りました。夜には格安のサロンもありますので気軽に寄って下さい。

丸山 卓也 (昭38工)

休日には時々近くのプールへ行って泳いでいます。水泳はいつでも素晴らしいものを持っていると感じているこのごろです。皆様によろしく。

鈴木 正弥 (昭39経)

今年1月末よりタイへ単身赴任しております。3年位の任期で戻る予定ですので、又よろしくお願い致します。

武政 英幸 (昭39當)

3年間の単身赴任を解消しました。新潟の田舎暮らしを堪能しております。

安茂 弘 (昭39工)

都合が悪く、月見の宴には出席できません。4月から神戸に転務になり、家から近くなり、その分水泳の練習に励んでいます。

前田 和秀 (昭40法)

最近体力の衰えを実感しています。目・歯・酒量・ゴルフのスコアに表れています。体力増強に本格的に取り組む時期と思って、水泳に再注力しようと思っています御出席の皆様によろしく。

日野 康 (昭41工)

北九州へ転勤となりましたのでよろしくお願い致します。

手嶋 忠之 (昭41理)

何かと忙しく、本年も失礼させていただきます。震災にも負けず頑張っておられる皆様に敬服しております。

宮部 高博 (昭42文)

長い間ご無沙汰しております。大震災など色々な事が起こった1年でした。皆さん、元気に頑張ってください。そしてさすが神大は立派だナァと誰からも言ってもらえる部活を期待しています。

瓜生 誠二郎 (昭50経)

阪神・淡路大震災後の最初のシーズンは何かと大変だったと思います。今後共、若さを武

器に頑張ってください。

紫垣和男（昭50當）

昨年4月にインドネシアのジャカルタへ転動になり家族でジャカルタで暮らしております。

平石康（昭53教）

運動会のため参加できませんが、盛会お祈りします。みんな震災に負けないで、がんばってください。私は元気そのもので、この暑さの中でもウォータースポーツにはげんでいます（ボート、カヌーなど水泳以外の）。琵琶湖のジョギングコンサートに行ってきました（8/27）。前日から湖畔でオートキャンプをはって気分そう快でした。趣味の世界に生きようと思います。

平野輝雄（昭53教）

職場がかわり、毎日あわただしい日々を送っています。「月見の宴」は出席できませんがみなさまによりしくお伝え下さい。

後藤信人（昭54當）

左ヒジ、右肩と故障だらけの体にムチ打って、今夏は市民大会と県民スポーツ祭に出場しましたが50平で38秒台がやっと。30秒台最後のレースは有終の美は飾れませんでした。が、生涯スポーツ水泳はこれからです。諸先輩方に負けぬ様、泳ぎ続けます。最近、ブームに乗っている訳では有りませんが、子供の頃を思い出し、釣りに手を出す様になりました。……サカナツリですよ。

山本隆（昭57経）

私の住んでいる西神ニュータウンの公園、空地のほとんどに仮設住宅がたち並び、被災者の方々が新しい生活を始めておられます。仕事の方では、区役所、避難所など最前線の緊急復旧業務の応援もほぼ収束し、本来の業務をしています。神戸空港が開港するのは10年先ですが、神戸復興のリーディング・プロジェクトとして着々と進めて行きたいと考えています。

杉野美奈（旧姓 坂井）（昭58松蔭）

5才ともうすぐ2才の息子2人と手のかからない主人と平穩無事に暮らしています。スイミングでの子供の級が上がるたび大喜びしています。

杉野誓（昭58工）

当日は仕事の予定です。申し訳ありません。

酒井潤（昭58経）

平成7年8月7日に千葉県の市川市から転動の為、門戸寮に再び引越してきました。月見の宴は祖母のお墓参り等で里帰り致しますので欠席させていただきます。震災後の神戸の会員の方々の復興をお祈り申し上げます。

石 本 日和子 (昭58教)

震災から半年、皆様お元気でおすごしでしょうか？我家もどうにか大修理が終了し、ホッと一息といった所ですが、実家の方は、これから建ち始める所で我が家の復興はまだまだ先になります。今年は、障害児学級の担任をしています、弱い部分だけに、彼らの震災後のケアも大変です。でも元気!! powerfull おばちゃん頑張ってマス。

山 野 和 則 (昭59農)

震災の影響もほとんどなくなり平穏な生活が戻ってきました。知事選で遅れていた異動が5月末にあり、本庁から出先へ異動しました。春から妻も育児休業が明け、育児への協力でふりまわされています。ここ数年全く泳いでいませんが、また泳ぎたいと思います。月見の宴は家庭サービスのため欠席させていただきます。

吉 岡 宏 之 (昭59法)

当日、箕面スパーガーデンへ会社の慰安旅行のため欠席致します。現役の活躍に期待しております。

谷 水 利 行 (昭59法)

9/7 から始まる第28回日本女子プロ選手権大会の準備に追われています。月見の宴当日は大会も終了しホッと一息ついていることでしょう。

南 谷 昌 宏 (昭60教)

24日が体育大会で多忙のため出席できず残念です。今年は近畿中学、県中学で優勝でき、好調なシーズンでした。もちろん私は泳いでいません。ナンデ？

高 木 小 砂 (旧姓 足立) (昭60準)

今年はいろいろな事件の起こる(個人的には震災で祖母を亡くしました)大変な年ですが、みなさんお元気ですか。被災された方々、又、佐敷さんには心からお見舞い申し上げます。実生活では1才9ヶ月の子供と専業主婦を満喫しています。忙しいような、ヒマなような平和な毎日を送っています。

浦 野 敏 明 (昭60経)

年々腹が出て、タイムも落ち気味。どこかで気合いを入れ直して練習せないかんと思っています。先日、茨木高校の新設プールへ行ってきました。素晴らしいプールですのでどんどん使わせてもらったらいかがでしょう。私から話しといても良いですが。

松 本 典 子 (旧姓 木村) (昭61教)

2人目を出産し、育休をとらせてもらっていましたが、9月に仕事に戻ります。さっそくプール指導があるので久しぶりに水着を着ます。六甲台の方には、なかなか行けなくて申し訳ないです。現役の皆さんがんばって下さい。

和 泉 千 里 〈旧姓 三住〉 (昭62農)

あいかわらず(高木)ちさちゃんと遊んでいます。

中 川 善 雄 (昭62工)

今年の夏は自動車事故と自転車事故で棒に振ってしまいました。但し、その分長男雄介は順調に大きくなっています。初めて水パンをはかなかった夏を過ごしてしまいそうです。

木 下 憲 臣 (昭63教)

当日、六甲山ホテルで同期の甲野君が結婚し、その披露宴に出席します。

近 藤 直 明・えり (昭63宮・工)

日比先輩、同期の徳永君と家が近所なので一緒に泳ぎに行ったり、食事をしたりしていません。東京に転勤ご予約の方は、是非近所にお越し下さい。

郡 幸 雄 (平1工)

4回生、ご苦労さん。来年は1ランクでもアップして下さい。当日は甲野の結婚式に参加します。

甲 野 賢 (平1理)

なんでまた結婚式の日に月見の宴やねん!? まあちょっと顔出します。今年は現役の試合も殆ど応援できず、すいませんでした。結婚の準備と自分の練習で精一杯でした。9/3は佐渡でトライアスロンです。

奥 村 直 樹 (平1経)

4回生の皆様、お疲れ様でした。私は最近全く運動しておらず、身の危険を感じるほど太りだしております。

小笠原 朝 隆 (平2工)

現役の皆さん、震災の中ご苦労様でした。

村 田 功 (平2営)

しばらく神戸に行っていないので、都合をつけて顔を出したいと思います。

林 均 (平2工)

今年は震災で大変な幕明けとなりましたが、その後いかがお過ごしでしょうか。なかなか神戸に行くことができないのですが、月見の宴で皆様とお会いしたいです。

東 圭 紀 (平3工)

京都駅の改築関係の仕事をしております。当日は私用があり出席できません。みなさまお元気でしょうか?

枝 沢 百合子 (平3教)

今年4月より芦屋高校勤務となりました。水泳部であったことを隠していたので今は陸上部担当ですが、来年は水泳部顧問になるかもしれません。まだ全くわかりませんが、そうなっ

た場合は神大水泳部を宣伝したいと思っています。現役の皆様、震災後色々大変でしょうが、どうか頑張って下さい。

笠田 幸介 (平3法)

御無沙汰しております。最近は、すっかり水から遠ざかっています。かわりに休日は専ら山に足がむいております。今回は残念ながら欠席させていただきます。

當麻 尚正 (平3農)

転勤しました。学生の皆さん、近くに来たら遊びに来て下さい。

青木 浩介 (平4経)

平成7年8月11日渡米、フルブライト奨学生としてワシントン大学で研修中。

松下 直子 (旧姓 武田) (平6文)

今シーズンを終え、現役の皆さんはようやく一息ついている頃だと思います。御苦労様でした。なお会員よりの義援金は9月1日現在 732,000円 (104名) になります。有意義に使って頂きたく存じます。

山田 基洋 (平6経)

千葉県民体育大会の船橋市チームに推薦され本番に向け合同練習に参加しています。千葉県はかなりレベルが高く、100自1' 00"、200個2' 30" を切って決勝に行きたいと張り切っています。当日は会社の行事の為、とても残念ですが欠席させていただきます。

寺井 美穂子 (平7文)

琵琶湖で高校生と共にヨットに乗る毎日です。23日は久々に都会の方へ行き、皆様に出会えるのを楽しみにしております。



## 「一つの連帯」

(昭30工) 堂本直正

一つの連帯である

今宵 大阪 梅田に 集う われら

遠い遠い昔 神戸は 六甲の 山麓で

汚い汚い水の プールで 泳ぎました

冷たい冷たい水で 震えながら 泳ぎました

大分県のMが久しぶりに 出てきました

そこで 有志一同が 集いました

一つの連帯の 一部分の 人たちです

みんなみんな 還暦を 過ぎた 男たちです

みんなみんな 社会と 家庭に

十二分に尽くしてきた 男たちです

たちまちに 四〇年の 歳月がさかのぼり

プールサイドの 合宿の 追い出しコンパの

話に ふける

汚い水に やけにカルキを入れて

ロングを引け ビートを打て ショートを一〇本

あと 水球の 紅白試合

泳ぎながら 汗が出る 練習

信じられない しごき

遠い遠い 昔 まばゆい陽光

懐かしい フラッシュバック

初冬の 今宵 旨い酒をのみながら

歓談に ふける われら

# マスターズ コーナー

## 1995年度活動報告

事務局 (昭46理) 岩切 博

### 第1回 F I A マスターズスイミング選手権大会

開催日 1995. 2. 26 (日)

会場 町田市立室内プール

一昨年に誕生した町田市の50mの室内プールは、市立のプールとしては、格別ともいえる立派な設備でマスターズでも時々使われるようになってきました。今年は、日本フィットネス産業が主催する第1回の大会が開かれ、下記の方々が参加されました。

氏名(卒年)	区分	種目	順	タイム	種目	順	タイム
田淵五郎(昭30)	60+	200背	2	3-19-32			
井上隆史(昭37)	55+	50背	3	41-07	100背	3	1-32-56
岩切 博(昭46)	45+	200平	1	3-16-80			

### ジャパンマスターズ'95(長水路大会)

開催日 7. 13~16

会場 東京辰巳国際水泳場

ジャパンマスターズは今年も東京辰巳国際水泳場で開催され、約6,300名の参加者で熱戦が繰り広げられました。凌泳会からも他のクラブからの参加者も含めて8名が参加し、下記の成績を収めました。

氏名(卒年)	区分	種目	順	タイム	種目	順	タイム
田淵五郎(昭30)	60+	50背	2	39-57	100背	2	1-28-56
		200背	2	3-14-22			
武政英幸(昭39)	55+	200個メ	7	3-14-92			
安茂 弘(昭39)	55+	200平	6	3-21-20			
阿部洋三(昭42)	50+	100蝶	8	1-26-71			
岩切 博(昭46)	45+	100蝶	16	1-25-48	200蝶	2	3-10-06
		100平	23	1-30-88			
佐敷定雄(昭49)	45+	50蝶	4	30-27	100蝶	3	1-10-26
		100自	10	1-06-11			
呉竹正人(昭59)	30+	200平	11	3-35-32			
浦野敏明(昭60)	30+	50平	33	38-92	100蝶	16	1-15-27

(註) 阿部洋三氏はY M C Aより、佐敷定雄氏は柏洋スイマーズより出場。

## 1995年度日本マスターズ短水路大会

本年度の短水路大会は開催会場が増え、全国19会場で開催されたが、関西地区では1月17日発生の“阪神大震災”は神戸市内のプールの大部分を破壊し、また、凌泳会員もそのほとんどが多少とも被害を受けたため練習もままならず、加えて神戸会場が中止となった事もあって参加者が少なく残念であった。一方、関東地区では大震災に直接には遭遇しなかったものの影響のあった会員もあり、“地下鉄サリン事件”の影響を受けた会員もあり、大会に熱が入らなかったのが実状であった。出場者及び成績は下記の通り。

### ◎大阪会場 4. 29. (日) 会場：大阪水泳学校長吉校

氏名(卒年)	区分	種目	順	タイム	種目	順	タイム
古賀克己(昭11)	80+	25自	2	21-00	50背	1	1-02-19
三宅 林(昭21)	70+	25平	2	21-11	100平	2	1-51-10
岡沢幹夫(昭29)	60+	25自	2	14-07	25蝶	1	15-15
松田司朗(昭32)	60+	25自	8	17-05			
安茂 弘(昭39)	55+	25平	3	18-37	50平	3	41-16

### ◎柏会場 4. 29. (日) 会場：柏洋スイマーズ

田淵五郎(昭30)	60+	50背	1	39-21			
武政英幸(昭39)	55+	50背	2	40-10	200個メ	1	3-13-54
岩切 博(昭46)	45+	100平	1	1-30-34	200個メ	2	3-08-78
佐敷定雄(昭49)	45+	50蝶	1	30-80	100蝶	1	1-11-11

### ◎豊島会場 5. 3. (水) / 4 (木) 会場：オアフクラブ東京

井上隆史(昭37)	55+	25背	6	19-56	100個メ	6	1-30-84
岩切 博(昭46)	45+	50蝶	2	35-47	100蝶	1	1-23-19

### ◎京都会場 5. 14. (日) 会場：京都両洋高校

三宅 林(昭21)	70+	50平	3	49-12	200平	2	4-16-51
安茂 弘(昭39)	55+	25蝶	4	16-03	200平	3	3-18-10

◎江戸川会場 5. 21. (日) 会場: 江戸川スポーツセンター

氏名(卒年)	区分	種目	順	タイム	種目	順	タイム
田淵五郎(昭30)	60+	25背	1	17-56	100背	1	1-26-48
井上隆史(昭37)	55+	50背	1	41-19	100背	1	1-30-36
阿部洋三(昭42)	50+	50蝶	4	36-24			
岩切 博(昭46)	45+	25平	4	17-86	25蝶	7	15-64
後藤信人(昭53)	40+	100平	2	1-24-25	100個メ	5	1-20-42
呉竹正人(昭59)	30+	50自	17	29-51	100自	11	1-08-47
浦野敏明(昭60)	30+	50蝶	8	33-37	100個メ	9	1-16-08
凌泳会(田淵、岩切、呉竹、浦野)	160+				100mフリーリレー	11	55-74

◎宝塚会場 5. 28. (日) 会場: 宝塚チボリビーチパーククラブ

古賀克己(昭11)	80+	25背	1	26-86	50自	2	51-22
岡沢幹夫(昭29)	60+	50自	1	31-70	50蝶	1	36-16
安茂 弘(昭39)	55+	50蝶	5	38-33	100平	2	1-29-40

### '95 レインボーカップマスターズ

開催日 9. 29~10. 1 会場: 名古屋市レインボープール

水泳殿堂のある名古屋市総合体育館のレインボープールでのこの大会は、関東、関西どちらからも参加しやすく、6種目まで出場でき非常にレベルの高い大会になってきました。凌泳会からは4名が参加し、下記の成績を収めました。

氏名(卒年)	区分	種目	順	タイム	種目	順	タイム
古賀克己(昭11)	80+	50自	3	54-04	50背	3	1-06-06
岡沢幹夫(昭29)	60+	50自	6	31-92	50蝶	3	35-76
安茂 弘(昭39)	55+	200平	2	3-25-10	100平	4	1-32-69
岩切 博(昭46)	45+	200平	6	3-13-20			

### 神奈川マスターズ長水路水泳大会

9月24日に平塚総合体育館で開催され、2名(井上、岩切)が参加し、金1、銅1の他大会新記録1(井上)の成績でした。

## '94世界10傑に小山賢之助氏入賞

凌泳マスターズ会長、小山賢之助氏は'94年度世界マスターズ10傑に入賞されました。ここに御報告し、お慶び申し上げます。

85+ 短水路 50平：6位、 100平：4位  
長水路 50平：8位、 100平：5位、 200平：3位

## 1995年日本マスターズ短水路大会10傑 入賞者

全国19会場に於いて開催された'95年度世界大会全参加者の成績集計の結果、各種目10傑が発表されました。凌泳会からは下記7名の方々が入賞されましたので、ここに御報告し、お慶び申し上げます。

古賀克己(昭11)、 三宅 林(昭21)、 岡沢幹夫(昭29)、 田淵五郎(昭30)  
武政英幸(昭39)、 安茂 弘(昭39)、 佐敷定雄(昭49)

## マスターズ水泳協会入会のお誘い

マスターズ水泳は5歳きざみの年齢区分でレースを行う世界的な組織ですが、タイムを競うよりも健康増進のため、生涯スポーツとして水泳を楽しむことを目的とするものです。凌泳会でも41名が登録し各地の競技会で活躍されております。参加ご希望の方は岩切までご一報下さい、登録書類お送りいたします。

## お 願 い

上記の通り岩切君に競技会の案内から成績の集計まで、ご厄介をかけておりますが、ことに成績の集計に手間がかかるようです。つきましては各レース終了後すみやかに各会場毎に結果をまとめて同君に報告して下さい。ことに他クラブから出場された場合は見落とす恐れがありますので、宜しくお願い致します。

(石井 記)

## ——— 現 役 部 員 寄 稿 ———

### 今シーズンに向けての決意

#### まとまったチームづくりを

主将 中尾 順一

高校2年から水泳を始めてばかりの私が、今期の主将になると決まったのは、この原稿を書く一週間ほど前であった。御存じのとおり、昨年からの幹部交代が3月に代わったためシーズンオフのまっただ中に今期の幹部を決めなければならなくなってしまったのである。だから、幹部でなくただの一部員であるこの時期に、主将としての考えを述べるのはピンとこないながらも、たいへん良い機会だと思い以後述べていきたいと思います。

最近、OBの方々や、また先日の応援団コンパの際には団長さんからも「もっと体育会らしく」と指摘されました。そこで私は、体育会としての意識向上をチームメイトに持ってもらうよう主将として努力していきたいし、チームのみんなにもそういう意識をもって私についてきてもらいたい。

私が望む体育会らしさというのは、毎日がヘトヘトになるような厳しい練習や、先輩・後輩間の厳しい上下関係というのではなく、普段の生活態度の向上や伝統ある神戸大学水泳部の一員として練習や大会・試合に臨んでほしいということである。つまり、望むのは厳しいクラブというのではなく、きちんとまとまったチームであってほしいということである。

しばらく低調であった我々チームを復活していくには、個人やチームとしての意識をもう一度立て直す必要があるかもしれない。昨年の本誌では、前々主将の小柳先輩は「個人」の「意識の改革」について書かれ、前主将の平山先輩は「チームワーク」について書かれ、両者はそれを実行し、ある程度の成果を得たと思う。更なるチームの躍進を考えるのならば、「伝統ある水泳部の一部員」である意識をもっともつことである。OBの方々や他学の選手への挨拶、試合や大会への積極的な応援、クラブ運営での個人の役割等、先輩方が作り上げた水泳部に傷をつけないよう、あたりまえのことをもっと徹底してきちんとしていくべきである。強いチームほど、部員全体がチームに対する意識をきちんと持ち、まとまったチームになっていると思う。部員全員が一部員である意識を持ち、練習や試合をしやすい環境づくりをしていけば好成績につながるにちがいない。

地震で崩れ去った神戸が一步一步復興していくように、我々水泳部も復活していけると確信しています。今年がその一步となれるように頑張りますので、先輩の皆様、今年も応援のほどよろしく願います。

## 円滑な運営とは

主務 梅本 哲矢

4月より、今年度の主務を担当する事になりました。いたらない点が多々あるとは思いますが、先輩諸兄におかれましては、御支援、御指導の程、よろしくお願い申し上げます。

水泳部全体の方針や競泳、水球の方針については主将や競泳、水球両主任が言及すると思いますので、私はクラブのマネジメントについて述べさせていただきます。我々は水泳部であるから、泳ぐのは当然の事であるが、団体として種々の大会に出場したり、他校との交流があると、どうしても雑多な事務が生じ、主務の一人の力では処理しきれない場合がある。このような時、部員に事務を委託するのであるが、これを面倒臭いものとしていいかげんに処理すると、円滑な運営ができなくなるだけではなく、活動そのものに制限が加えられるのである。他人の為にやっているのではなく、自分の為にやっているのであるから、積極的に関わってほしいと思う。

## 結果を出すために

競泳主任 福岡 達信

水泳選手に限らず、あらゆるスポーツにおいて、競技選手として活動することは、ある程度の結果を出すことを目的とするものであると私は思っている。特に、体育会に所属しているからには、チームとしての結果が最も大事なことであるから、これからシーズンではあるが、競泳主任に就任したからにはそのことを念頭に置かなければならないのである。しかし、あえて現在の神大水泳部の状況から言わせてもらえるならば、今シーズンは水泳部としての結果よりも個人としての結果を出すことをまず皆に考えてもらいたい。なぜならば、競泳とはあくまで個人競技であり、チームとしての結果を出すためには結局は個人個人がレースで点を取る、簡単に言ってしまうえばそれしかないからである。もちろん、ただ一人一人が勝手に泳いだけで、チームとしての結果が得られるはずもなく、そこには何らかのまとまりがないとだめであろう。しかし、自分一人が結果を出す、もっと正確に言えば、結果を出すための努力もできない者が他の人間に対して自分の分までがんばれと応援することができるだろうか。私が言いたいのはそこである。自分のために必死になってこそ、その目標が果たせなかった時に初めて他の人間に託そうかという気になるのであり、託される方も、そういった努力を見ているからこそ、そいつの分までという気に初めてなるのではないだろうか。だから、まず皆が試合で Best を出すことを考えよう。どんな試合でもかまわない。一つの試合でダメでも次の試合でがんばればいい。試合はシーズン中いくつもあるのである。そして練習でもまず自分ががんばろう。そうすることで他のチームメイトにやる気を起こさせることができるならばそれが一番良いのではないだろうか。

## 昇 格

水球主任 井村 大智

我々は昨シーズン目標を達成できなかった。そこで今シーズンもその達成目指していくわけだが、その意味合いが少し変わったと思う。昨年の目標は「復帰」だった。「戻る」ことだった。だが今年「昇格」である。「はいあがる」ことである。もう我々は上にいたチームではない。下にいるチームなのだ。そのことをチーム全員が肝に銘じて欲しい。だからもっと謙虚になろう。おごらずがんばろう。現状に満足せず。もっと上のレベルを目指そう。

今年もはい上がるチャンスは一回きりである。昨年よりひと月早くやってくる。今年こそ自分たちの手でつかみとろうではないか。ともに勝利して喜ぼうではありませんか。

最後になりましたが、先輩方の応援は私達にとってたいへん心強いものです。今年もどうぞよろしくお願いします。



## 卒部の辞

(平8 法) 磯山 正則

遂に私にも卒部の辞を書く順番がきてしまいました。思えば、私の大学生活は水泳部一色でした。それ故世間一般の学生生活を謳歌したとは言えませんが、本当に楽しい四年間でした。

素人同然だった自分が、これほどまで競泳にのめり込むとは、私自身驚いています。偉大な先輩方のすさまじいパワーに圧倒され続けた私は、いつかきっと俺も「偉大な先輩」と呼ばれたいと思い続けていましたが、幹部となって関カレ三部低迷という汚点を神大水泳部に残してしまったことは、非常に悔しいことです。個人の成績としてチームに何の貢献のできない、自分が情けなかった。個人の記録としても、ミドルのフリーをやっていた私は400を5分をきって泳ぎたかった。今でも悔やまれるのは、最後の関カレの400フリーで私のタイムは5分0秒だった。あとほんの少し頑張れば、あと少しタッチを早くしていれば、5分をきれたのに、こんなタイムで大学の競技生活を終えた自分が情けなかった。一度金監督が私におっしゃったことがあります。「お前頑張っとるけど、もう少し頑張りが足らん」まさにこの言葉通りの私の競技生活でした。もう少し頑張れるよう、満足できるまで競泳はやめないつもりです。

何だか反省文になってしまいました。これも自分らしいのではないかと思うので、これを私の卒部の辞とさせていただきます。

最後になりましたが、バカな私を可愛がってくれた先輩方本当にありがとうございます。これからも可愛がってください。いろいろ迷惑かけた同輩のみんなありがとうございます。今後強いチームをつくってくれるであろう後輩達の活躍を期待します。限りある学生生活を時にはバカになり、後悔のないよう頑張ってください。本当にありがとうございます。本当に楽しかった。

(平8 法) 井上 泰宏

長いようで短かった4年間、果たして私にとってこの4年間は何だったのでしょうか。振り返ってみれば、みんなで一生懸命に目指してきた思い出が数多くあり、本当に皆さんに感謝したい4年間ですが、自分にとっては、もっとやれたという後悔が今の気持ちであり、いろいろな意味で反省し、学ぶべきことの多かった期間でした。先輩方の作られた過去の栄光を引きずり、結局は自信過剰。負けたくない、それだけの気持ちでチームメイト以上に頑張ってきたと思う努力も、結果を出せなければそれは単なる自己満足以外のなにものでもなかったわけで、それどころかケガを克服できず、あげくの果てには闘争心も人より欠けてしまっていたように思います。正直、スポーツを本格的に取り組む者にとって、こんなに自己管理能力のない私は失格でした。そして、OBの諸先輩方の言われることが今になって分かるような気がします。そんな私がこれからの神大水泳部を担う

後輩達に言えることは何もありませんが、あえて言うとしたら、こんな私をみて感じたことをぜひ今後の選手生活に生かして欲しい、そう思います。そして、悔いの残らぬ選手生活を送って下さい。諸君の健闘を期待しています。

最後になりましたが、数多くの御迷惑をかけてきた私に御指導して頂きました諸先輩方、先輩らしいことは何もしてあげられなかった私と一緒に練習してくれた後輩達、こんな私と4年も付き合ってくれた同輩、そして、夢中にさせてくれた水球とお世話になった神戸大学体育会水泳部にこの場を借りて心から感謝致します。本当にありがとうございました。

(平8 経) 河原 知成

4年間にわたる「神戸大学体育会水泳部」での活動に、とうとうピリオドを打つときがきました。ありきたりな表現ですが、「入部した日のことを昨日のことに覚えているのに、気がつけばもう卒部の時期をむかえてしまいました。時がたつのは本当に早いものです。振り返ってみれば、長いようで短い4年間でした。」というのが正直な気持ちです。

これまでに夏のシーズンを4回過ごしたわけですが、1年目の夏、2年目の夏、3年目の夏、4年目の夏、それぞれの夏にそれぞれの思い出が残っています。喜んだこと、怒ったこと、哀しかったこと、楽しかったこと、いろいろなことがありました。また、先輩、後輩を問わず、数多くの人たちに出会い、いろいろな話ができただけで、私にとっては一生の財産となることでしょう。そうしたすべての思いを胸に、私は巣立っていきたくと思います。

最後に、今後も水泳部での活動を続ける現役生のみなさんにつぎのことを言い残しておきたいと思います。それは、明日がある、来週がある、来月がある、来年がある、という思いをあまり強く持たないほうがよい、ということです。裏返していえば、今のこの瞬間を精一杯生きてほしい、ということです。この「今を生きる」という現実主義的精神を心の片隅に留めて、クラブ活動に、(いろいろな意味での)遊びに、アルバイトに、学業に、励んでほしいと思います。

4年間いろいろお世話になり、本当にありがとうございました。

(平8 農) 北中 宏一

今思い返してみると、大学生生活の四年間はあっという間に過ぎたように感じます。一回生の時、結構軽い気持ちで入部して、それから水泳部にはまってしまい、気が付いてみると部活ももう引退で卒部の辞を書くだけになってしまっているのです。

高校の三年間は文化系のクラブに入っていたため、最初は体育会のノリもいまいち分からず、泳ぎもめっちゃくちゃで練習に全然ついていけませんでした。これではあかんと思い、自分なりに頑張ってきて練習にはそこそこついて行けるようになりました。練習はしんどかったけれどもベストがでるのがうれしくて、また頑張ろうと思いました。

私には泳ぐこと以外に、学連という試合を運営していく非常にやり甲斐のある仕事に携わることができました。四年間最後の試合となった関西学生選手権、いわゆる関カレで、選手として、学連として三日間を終えたときの達成感には言葉に表せないくらいでした。あのときほど学連やって良かった、水泳部で良かったと思ったことはありませんでした。

最後になりましたが、色々とお指導して下さった先輩方、かわいい後輩達、そして共に頑張ってきた同輩達に心からの感謝を述べたいと思います。今まで本当にありがとうございました。これからも水泳部が繁栄していくよう祈っています。これからも頑張ってください。応援しています。

### (平8 農) 小柳 勝義

中学1年の春、初心者の僕が水泳部に入った。男として自分を試したかったから。仲間と共に練習し研究し、毎日毎日プールの中で往復を繰り返した。日を追うごとに活躍の舞台は広がり、水の中にいるのが楽しくて仕方なかった。

僕は超進学高校に合格し、水球を始めた。インターハイを目指して信じてられない練習量だった。僕は数々の根性練習を消化して、大試合から地道な朝練まで一生懸命に頑張った。これは自己満足でありささやかな誇りです。でも結局インハイ、国体どころか補欠に終わり、成績もびりに近くて大学にもいけなかった。僕は大切にしていたものを次々と失い、これほど惨めに感じた事はなかった。浪人生活では打ちのめされ、目に見えなかったものが見えるようになった。

大学ではもっと楽に生きようとしてみた。でもそうすれば今までの気持ちを忘れてしまう。逆にそれが嫌だった。腐った自分を乗り越えないと次には進めなかった。僕は自分の弱さを棚に上げて、人の批判や非難をできなかった。その人の気持ちになればなるほど身動きできなくなり、自分を殺していった。口先ではなく、見本になろうとした。その人を大切に思うなら、自分が強くなろうとした。

その中で主将というものを経験して別次元の苦しみと喜びを味わい、人を見る目も自分自身も変わった。特に色々な行事や試合があり、与えられる楽しさではなくみんなで作る楽しさを学んだ。リーダーだけでなく、それを支えて協力する集団、水泳部という組織があったからこそできたと思う。関ボロも関カレも定期戦も同じ様に。

阪神大震災はすべてを狂わせ、水泳ができる幸せを思い知らされた。部活動の再開には言い知れぬ苦労があった。僕は個人的にスイミングの選手コースに6週間通った。恥を捨て中学、高校生相手に本気になり、大切な気持ちを教わった。もう誰にも負ける気はしなくなっていた。最後の関ボロでは進路よりも練習を選んだ。10試合を無失点に押さえる事を個人目標とし、大好きなこのチームで喜びを分かち合いたかった。最後の土日は膝が痛くて巻き足ができる状態ではなかったが、膝が壊れてもいいと思った。2部全勝優勝が決まったときの感動は一生忘れない。そして、入替戦で延長の末に敗れて誰にも評価されなくなったときの空しさも…。

僕は大学院の応用動物学専攻で遺伝子の研究を続けます。今振り返ると、僕一人では決してここまでやれなかったと思う。ともすれば崩壊寸前だったこのチームで、自分の非力さも省みず、ひたむきに頑張れたのはみんなのおかげです。最後に僕を支えたのは意地ではなく、みんなの心でした。“みんな小柳さんの姿を見えますから”と言ってくれた後輩達の心に期待して、僕は引退します。ありがとうございました。

(平8 工) 鈴木健太郎

思い起こせばあれは7年前の夏、自分のミスで負けたあの決勝戦からそのくやしさをバネに水球一筋がんばってきたこの僕は、今日も明るく働いていた。

「いらっしゃいませ、何名様でしょうか!？」

(平8 法) 長野 稔

最後のシーズンを終え来シーズンがない僕にとって、泳ぐ必要は全くない。それでも僕は週に何回かはプールに出かけ、現役の頃と同じように泳いでいる。なぜだろうか。ただ僕は泳ぐことそのこと自体が好きで、楽しくて、そして心の奥底では誰よりも速く泳ぎたいとずっと小さかった頃から思っていたからに違いない。

僕にとって水泳とは手段であったと言って良い、と思っていた。ただ、自分の存在を認めてもらうためだけに水泳をしていると思っていた。自分に勝つとか強い精神力を身につけるとか、そういうことよりも自分は勝って、自分の存在を表現したい。人に勝つことができれば1つでも順位をあげれば、人に認めてもらえるだろうと思ってやってきたにすぎないのではなかったか。だから自分のタイムが何秒かよりも、何とかしてタッチの差でもいいから、レースで少しでも順位をあげるということが大事だった。

最後のシーズンを終えた僕は、その自分の動機が果して本当の自分の気持ちであったかどうか、疑問に思っている。やはり泳ぐことが好きで、楽しくて水泳をずっと続けてきたのではないか。そして、誰よりも速く泳ぎたいと自分のタイムを伸ばしたいと思ったからこそ練習をしてきたのではないかと思う。その点で僕は今になって後悔している。レースの結果だけではないと。自分がどれだけ泳ぐことが好きで、どういう選手になりたいのかをふまえ、そのために何をすべきかをよく考えて四年間を過ごしたかどうかであると。また、四年間のうちどれだけを水泳と暮らしたかであると。

僕が現役の皆に言いたかったことはそのことだ。ただ漠然と適当に日々の練習をこなし、冬に遊んでいるようでは水泳部員だったとは言えないということだ。

最後に、途中から入ってきたよそ者を心良く迎えてくれたことに本当に感謝する。また、途中抜けた人間を今でも友達として扱ってくれていることに本当に感謝する。僕が本当にこの四年間で得

られたもので否定されたくないのは友達だ。本当にありがとう。

P.S. 苦しい時代に幹部の仕事をやり通した同回生に尊敬の拍手を送りたい。

(平8 松蔭) 池永 佳子

4年前の7月、初めて神大のプールに来た時は、みどり色のプールの水と、部室を見てびっくりしました。更に今まで女子校しか経験したことのなかった私は、男の人の多さにも驚きました。水泳がやりたいと思って来たものの、本当にこの水泳部でやっていけるかが心配でした。

あの日からもう4年たつのですね。早いものです。今ではすっかりあのプールや部室に愛着がわいてしまって、卒業して行くこともなくなるのかと思うとさびしい気がします。今考えてみると、私の大学生活はほとんどが水泳部での思い出でいっぱいです。大会で800mを泳ぐときは本当に憂うつでしたが、長時間、ずっと応援してくれているみんながいたから、最後までがんばれたのだと思います。

もう二度とあんなに一生懸命泳ぐことはないでしょうし、泳ぐこともできないでしょう。そう思うと大学時代に好きな水泳を思いっきりできて、本当によかったと思います。

何よりもうれしいことは、いい仲間に出会えたことです。お世話になったOBの方々や先輩方、同輩、そして私にとってかわいくてかわいくてしょうがない後輩達、皆さんのおかげで、私はとても楽しい日々をすごすことができました。

今はっきり言えることは神大水泳部に入ってよかったということです。4年間、本当にありがとうございました。後輩の皆さん、ずっとずっと応援しています。がんばってね。

(平8 文) 今村美衣子

「泳ぐことが好き」で入った水泳部、知らないうちに先輩方はどんどんOBとなり、後輩が増え、気がつけば四年が経っていました。一回生の頃、コンバのたびに「今村、クラブやめんなよ」と先輩に言われていたような私が（私はやめるつもりはなかったのですが……）、きっともう二度とすることはないパフォーマンスをできたのは、水泳部のおかげ(?)です。

クラブ活動という点では、一生懸命頑張った、と胸を張って言える程のものではなく、後悔していることの方が多いです。いつまで経っても先輩らしくなれない自分にはもどかしく感じていたし、結局一回生の時に出したベスト以上の成績を出すことができなかったのはすごく悔しいです。それでも、四年間水泳部にいて、いろんな価値観を持った人々が、まがいなりにも何かひとつのものを作り上げるような感覚を損得抜きに味わうことができたことは、私にとって大きな喜びでした。いつも励まして下さり大きな存在だった諸先輩方や、いろんなことを考えさせてくれた同輩、頼りない私を後押ししてくれた後輩の皆さんには感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

今後ますますの神戸大学体育会水泳部の発展と活躍を心から祈っています。頑張ってください。

(平8 営) 坂上 京子

4年間って本当にあっという間なんだなあとこれを書くとしみじみ思います。4年前、浪人生活を終え、憧れの神戸大学に入れました。健康センターの前で先輩方にとり囲まれ、勧誘されたものの、始めはとまどいました。結局、マネージャーとして入部しようと心に決め、六甲台にのりこんで来たのですが、マネージャー志望者が多かったこと、「泳がない？」と熱心に誘っていただいたことに心を打たれ、中途半端な気持ちのまま選手になり、結果1年間しか選手としては活動しませんでした。この私のわがままな行動のためにいろいろな先輩方にご迷惑をかけてしまったことを深く反省しています。

2年生からはボロのマネージャーとして活動したのですが、「自分の選手経験を生かして選手の人々にプレーしやすい環境を」と心掛けたつもりでしたが、まだまだ不十分でした。特に、試合中ピンチになってチーム内の雰囲気が悪くなったときに、それを少しでも打破できるようにつとめることができなかつたからです。うちのチームはある程度実力はあると思います。練習もできる限りの範囲でしっかりとしていると思います。あとは、心がまえ次第！ もっとみんなが自分に自信をもってプレーできるように励ましてあげること、これがこれからのマネージャーさんへの課題にしましょう。こんなふうにたいしたコトはできなかった私ですが、いろいろと教えてくださり、可愛がってくださった先輩方、一緒に遊んで支えてくれた後輩たちに本当に感謝しております。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

(平8 工) 宮崎 浩司

あっという間に4年間が過ぎた気がします。「ほんまに俺4年もここにおった？」っていう心境です。でも、そんな短く感じた4年間でもありとあらゆる人達に大変御迷惑をかけたと思います。今ここで、おわび申し上げるとともに、4年間、ここに置いて頂いたことを深く感謝いたします。

(平8 文) 岡 晶子

クラブ生活の四年間がいかに短かったかは、どの年度の凌泳を見てもおそらく必ず誰か一人は述べられている感想で、自分が読み手であった時は、それは手紙で言えば時候の挨拶みたいなものだと思っていました。でも、今こうして卒部の辞を書くに当たって四年間を振り返ってみると、決して単なる常套句ではなく真先にうかがふ実感のこもった感想として、やはり私も書いてしまいます。水泳部での四年間は、長いようでいてあっという間でした。練習の後にお風呂に紅茶をもって行き、「紅茶飲まはりましたか？」(注：一音ずつ伸ばし気味に読んで下さい)という一言にいつも笑われていた入部したてのあの頃から、もう何年も経つなんて不思議な気さえます。超人的にとろくさ

いこの性格にして体育会のマネージャーになるなどということは、私にとって冒険であり、無謀と  
いっていいくらいのもので、当初はそのうちやめるだろう（というより、「やめさせられるだろう」）  
と自分で思っていました。こんな私に根気よくお付き合い下さった皆さんの忍耐力には頭が下がる  
思いであり、とりわけ、水泳のことなんて何も知らず入部した私に、一から水泳を教え、かわいがっ  
て下さった先輩方には本当に感謝しています。最後のシーズンはほとんど活動しなかったため正味  
三年間、水の間際の特等席から練習を見せていただきました。その間自分はといえば、仕事は確か  
に覚えていったけれど、チームをもっと強い、もっと良いものにするにマネージャーとして参  
加したとはとても言えません。だから、先シーズンは幹部学年としていろいろ大変な思いをしつつ  
頑張った同学年のみんなには「ご苦労様でした」としか言えず、自分をその仲間として数えること  
ができないのは残念で、情けなく思います。でも、スポーツの世界に全く縁のなかった私にとって、  
水泳部での経験は得難いものでした。皆さんありがとうございました。

（平8 松蔭女短） 太田 恵子

私は短大に受かった時、二年間しかないし、やっとなんか親も厳しい事を言わなくなったし、アルバイ  
トや遊びに明け暮れようと思っていました。でも二ヶ月もすると、なんかつまらなくなって水泳部  
をのぞきに行きました。マネージャーをしていると、なんで毎日タイムばかり計っているんだろ  
うって思ったり、やめたくなることが何回もありました。でも今は、ぐちを聞いてくれたり、一  
緒にいてすごく楽しかったり、何でも話せる先輩や後輩や同回生の皆さんと知り合えて本当に良かっ  
たと思っています。二回生になってからは、ほとんど顔を出さなくて本当にすみませんでした。四  
月からなんとか社会人になれそうです。これからはできるだけ試合の応援に行こうと思っているの  
で、見かけたら話し相手になって下さいね。水泳部の皆さんのおかげで充実した二年間になりまし  
た。本当にありがとうございました。これからも頑張ってください。

（平8 松蔭女短） 後藤 彩子

2年間お世話になりました。マネージャーという仕事を通していい経験をしたと思います。自分  
の未熟さを思い知らされた気がします。この経験を忘れずにもっと自分を成長させたいと思います。  
この部活に入ってみなさんに会えたことを嬉しく思います。

（平8 松蔭女短） 鶴田 理早

神戸大学の水泳部ですごした時間は、私にとって本当に大切なものになりました。よき先輩、後  
輩、友だちに会えたことによって、自分が成長できたように思っています。皆さんほんとうに感謝  
しています。ありがとうございました。

（平8 教） 安井 努

4年間の思い出に一句よみます。

「くさむらで なまずと2人 9秒でいく」 うみうし

## 現役部員紹介



諫山 大介(発達・自短・四條畷高) “容姿端麗、財力豊富、歌唱力抜群” のだれもがあこがれと羨望のまなざしを向けざるを得ない数々の技能をもつ我が水泳部の誇るべき競泳主任。去年は部員のほとんどが彼にお世話になったことであろう。残る1シーズン、こんどこそ悔いのないようにがんばってください。唯一の欠点であるスタミナ不足も、夜の生活を少々おさえればOK!…だと思えます。

大場 理世(工・背・水球・茨木高) 名実ともに神大ボロ面の顔だった昨シーズン。パワフルなプレーで我々を引っ張ってくれた彼は趣味が多い。オフロードバイクにウインドサーフィン、スノボに×××…。いろいろあるようだ。うん。さて入学時に新入生に見えないため一度も勧誘をうけなかったという異色の経歴を持つ彼も、もう4回生。最後のシーズンとなるが、もういちど爆発してくれることをみんな期待しているが、彼ならきっとやってくれるだろう。

尾下 順治(工・水球・畷傍高) 彼はバイクが好きである。かっこいいバイクに乗り風を切る。水球の試合となれば縦横に泳ぎ、投げるボールは走る。昨年は大変活躍された。今年はまだ4回生である。今年さらなる期待を受け、試合では彼のゴールへつきささる投球が楽しみである。単位が足りないと聞くが、その気になれば単位もビシバシとってしまうことだろう。

中村 洋平(工・水球・広島学院高) 「オース。神戸大学体育会水泳部マージャン部門所属。4回。中村はんじ。(彼はマンガ「家裁の人」に登場する「はんじ」という人物にそっくりなのでそのネーミングになった。) 以後よろしくお願ひしませう。オース。」そう、彼はマージャンが得意である。日々、マージャンについて研究しているらしく、私はんじ先輩に酒をつぎにいくと、「人生はマージャンのようだ。」と言いつつ、長々と語り始める。そんなはんじさんであるから、単位の方もリーチがかかっているらしく、もうすぐ、ツモるらしい。

西野 茂(営Ⅱ・自・水球・神戸西高) 「お人よし」そう彼は善人である。学連の雑用も、つがれたお酒も、ホモのブツさえもイヤな顔ひとつせずそれどころか笑みすら浮かべて片付けてしまう“ザ・善人”なのだ。あまりの人のよさのため「さあ泳いで==」と言われればかりのデフェンスで敵に抜かれることもしばしばである。しかしそんなゲルシーにもお得意芸、いや失礼、弱点がある。それは マ・ジ・カ・ル……バナナ!! 回りに回ってしまうその頭脳のおかげで周りの人の腹までよじれてしまう。でも、ゲルシーももう4回生となり、残された時間は少ない。べるそなが去り、カベラが来た今年もきっと素晴らしい活躍をしてくれることだろう。

服部 陽宏（経・水球・旭丘高）彼は練習の虫である。夏休みなど練習開始の1時間前にプールに顔をだすことなどザラである。というのもその特異な居住性に原因があるようだ。震災で「全壊」に指定された下宿に住み続ける彼だが、そこに存在する冷房器具といえば扇風機とぬれタオルのみ！  
“が”の多い六甲台のプールのほうが涼しいだけ、まだ過ごしやすいということか!? また、こんなに早く来るので練習ではプレーにキレがあり、シュートもバシバシ決める彼だが、試合となるとチョンボも多い。残り1シーズンお得意の強気でポロ面の中心としてがんばってもらいたいものだ。ところで練習の虫であると同時にシャドーの虫だった彼も念願のグローブを購入し、ついにリングへ立ったようだ。デビュー戦は勝利で飾れたのだろうか!?

平山 義浩（発達・平・水球・千里高）神大の夏休みのとある一日のこと。練習は彼の少しふめけた声で始まる。「うーん。やっぱあかん。あかんわ。なんでやろなー。大場、ちょっとオレあかんわ。先に練習始めといてー。いって来るわ。」と言いのこしてプールを去る。そう、彼はベン・ビーン・ゲイリーの名の通り、腹を下しやすいのである。ベン・ビーン・ゲイリーの由来はもちろん「便・下痢」からきているのであるが、少し気になるのが、ミドルネームの「ビーン」である。これは、同回の服部氏が、彼の部屋を訪れた時にその整い様から彼は繊細なんだと思い「ビーン」としたのである。彼がプールに戻ってきて一言いうことには、「やっぱり少しでも腹に残したらあかん。全部出さなな。やっぱ気合が入らんわ。」このように彼は繊細なのである。「少しでも」というところがまさに彼の繊細さが光ると私は思う。日が西に傾く頃、神大水球部の練習が終わるのである。とりあえず軽く風呂に入り、シャワーも浴びる。「やっぱ、水バンの中までちゃんと洗わなな。夏はむれるわ。」そう彼は「むれお」ことベン・ビーン・ゲイリーなのである。ある日、「むれる。むれる。」と言っていたときに、先の四回の鈴木氏が「むれお」と命名したのである。その日以来、「むれお」が定着しつつある。ある日のことマネージャーK氏が部員のタイムをとるときに、神大には平山という名字が二人いるので、下の名前のイニシャルで区別をつけようとしたところ、『A平山m君タイム…。B平山m君タイム…。』と示した。一年にミチオなる人物がいるのでmでわかるのだが、そう彼はYとしなければならなかったのだ。マネージャーK氏は「アー。ごめんー。まちがえちゃったー。ムレオくんじゃなかったもんねー。」と語っていたが、その言葉を背に主将は、動じることなく、去っていくのであった。その貫禄。チームを引っ張る気合。そして、繊細さ。神大水泳部の部員は口々にうなずく。常にうわさになり、神大水泳部のヒーローは、そうムレオことベン・ビーン・ゲイリーなのである。

加藤 智子（国際・マネージャー・千種高）加藤せんばいは、マネージャーのプロです。今まで数多くのマネージャーのプロを見てきたけどここまですごい人はいなかった。ちなみに高校時代、ウォッチ2つで1度に9人のタイムがとれる強者マネージャーがいましたが。とにかく今年はある

まし迷惑かけないようにします。

番場 順子（発達・個・茨木高）番場さんは今年で11才になりました。おめでとうございます。（番場さんすみません。）番場さんの好きな食物はアイスクリームである。ちなみに木村さん会長の「甘党の会」に入っていらっしゃるそうだ。夏は毎日水泳の練習が終わると生協でアイスクリームを食べられてた。冬も毎日食べられているのだろうか？ それにしても毎日アイスクリームを食べたら太らないのは不思議である。

松井 寿（国際・自・宮城二女高）いつも明るく cuty なのえ先輩ですが、お酒を飲むと明るさに輪がかかって high になり、「楽しいねー==」を連発されます。笑顔がたえないのえ先輩が私達は大好きです。その笑顔とは一転して、独特のゴーグルで400mをなんなく泳いじゃいます。末永くお幸せに…。

吉川 智子（理・背・茨木高）Yさんは女子部のキャプテン。安定感があって頼りになるクラブのお姉様の存在です。専門種目の背泳ぎは Powerful な泳ぎで他コースを圧倒！ メドレーリレーでも絶対不可欠な人物です。

安部 泰史（経・平・延岡西高）「あ、こんにちわ。ほくあべです。よろしく。」そう。かれはあべ。漢字で書くと安部。プログラムとかで漢字間違えられると困る。非常に困る。彼は名前をいっぱい持っている。安部牛肉。安部バセリ…。そうそう今年ついたのが安部かいわれ。どうやらそうらしい。「マヨネーズつけるのがいい。」とおっしゃっていたのを筆者は覚えている。また彼は、大の馬好き。下宿でかいわれと一緒に育てている模様。来シーズンもぜひそのかいわれで馬力をつけて、活躍してもらいたい。

梅本 哲矢（農・水球・春ヶ丘高）

年齢：不詳（かなりふけている）

身長：165cmぐらい

体重：60kgぐらい

趣味：昼休みに部室でおにぎりを2つ食べる事。

来年への抱負：パイボンパワー、フル出力!!

田中 智之（営・自・川西緑台高）二回生になってから水泳部の門をたたいた彼であるが、コンバを盛り上げてくれる大切な存在である。愉快な人であり、ブランデーをこよなく愛する。そして、

酒が入ると愛を語り始める。「君に会えて教えられたことがある。それは一目惚れの意味だよ。」  
「君が太陽で僕が月だ。君がいるから僕が輝く。」実際に、コンパの時使っていたが、彼は次の日  
記憶が曖昧であった。

中尾 順一(工・水球・桐蔭高) 昨年の後半から見せ場を増やし、恐らく今シーズンはスタメン  
の1人として活躍を期待される。恐怖の2回生トリオをびびらすようなプレイを見せてほしい。彼  
の必殺技は“すべてを切りさく右手”。昨年もI君のひたいをさっくり切りさくなど、あらゆるも  
のを切りさきまくっているらしい。ハンターとしての腕と共に、“切り札”としてがんばってもら  
いたい。

福岡 達信(工・自・天王寺高) 彼は名実ともに我が水泳部で最も速い男である。昨年の全国公  
のファイナリストでもある。とは言え高校の時のタイムを出せばもっと上位にくい込めるのである。  
となれば誰もがそのタイムを出せばいいと思うだろうが最もそう思っているのは本人であろう。な  
ぜタイムが出ないかは皆も本人も第一の原因がちょっと太めということに気づいている。しかし彼  
は朝からスイミングで泳ぐなど隠れた努力をかかさぬ男である。今年は個人だけでなくリレーで  
も全国公にいったいほしいと思う。

森 太一郎(工・水球・畷傍高) ある日のこと、彼が先輩に言った。「金と単位は湧いてくるも  
んですよ。」なるほど、金については彼はロイホでアリののように働き、リーダーになる日もそう遠  
くはないというウワサもあるので納得できる。しかし、単位については一年の前期に、10単位そこ  
そこしかとれなかった彼が、そんなことを言うものだから、その言葉を聞いた先輩たちは聞く耳を  
もたなかったが、後期の試験前、地震がおこり、レポート提出になり、彼はほとんど優で取ってし  
まったらしい。「ほら、単位は湧いてきたでしょう。」と彼は当時、自信満々に言っていたらしいが、  
彼の2回生のときの前・後期の試験は案の定、ヤラれたらしく、一回下の私と「ため」でしゃべれ  
る日もそう遠くはないだろう。「せいぜい、オレの年下にはなるなよな。タイチロー。」

田所 照代(工・自・都立西高) 某先輩がゆってました。「あいつはさっぱりしていいヤツだか  
ら」と。本当にその通り、明るくてサバサバしたおもしろい先輩です。今年は3回生女子一人です  
が、部活に勉強にがんばって下さい。ウワサでは、てるよ先輩の下宿におじゃましたことのある人  
は数少ないとか……。また今度、おじゃまさせて下さい。

井村 大智(経・水球・済々黌) 部内一の巨漢かつ冷静さをおかね備えた九州男児。彼の大きな瞳  
は松蔭ギャルに対して効果絶大。リーダーシップや基礎体力も抜群で、今後の彼の活躍には期待を

かなり持てるだろう。

沖代 直也（国際・自・兵庫高）彼はマイペースな人間である。常に我が道を行こうとする。そんな彼は中国とドラマ“フルハウス”を愛してやまない。もちろんフルハウスではステファニーのファンである。彼にはいつまでもマイペースに生きて欲しい。

楠橋 佑樹（文・バタフライ・八幡浜高）彼は大変人の良い文学青年である。少し朝に弱いようであるが、いつも朗らかで憎めない彼は競泳の試合となれば力強い泳ぎで相手を圧倒する。彼は貴重なバタフライの選手であり、個人では上位にくい込み、リレーでも活躍する。今年もこの力強い泳ぎでチームの大きな戦力となることだろう。

玉田 浩介（工・自短・加古川西高）彼は一見人見知りしているようであってさにあらず。実は、その寡黙な姿の下には、恐ろしい悪魔の様な素顔が…。しかし、その姿を知る者はいない。

土井 祥宏（工・自・水球・智弁和歌山高）彼はこよなく母校智弁和歌山を誇りに思う男である。彼は今年43才。昨年はいろいろと大変だったらしい。大学内で原付でこけてケガしたり、プールにおとされてそのとき腰をいためたり、飲み会ではしゃぎすぎて“セクハラ大魔王”とよばれたり、しまいに原付は免停になるは、ベントにぶつかり45万ぼられるはで悲惨な一年だった。しかしこれらを「アンラッキーやった」ですますこの男。さすがに43才にして19才で押し通す男である。しかし厄年の力はおそろしいものである。

中村 浩爾（農・平・帝塚山泉ヶ丘高）彼は心やさしい青年だ。「筋肉マッサージをして。」と頼まれれば、先輩、同回問わずして、汗を流しながらマッサージしていた…。いつもニコニコしていて、喜怒哀楽おだやかな彼は、ちょっと Mysterious だ。

成田 康修（営Ⅱ・水球・八千代高）オレさぁ、千葉代表の国体選手だったんだぜ。神大でもバリバリシュートきめるし、めっちゃうま〜。プレストも超速いんだぜー。オレって天才じゃん。ところでさぁ バナナくれよー。えーないの〜？ やってらんないよもう。バナナって超体にいいんだぜ。オレ今淋しいよ。超かわいい女の子まってるぜ〜。ウッソ。でもホント。

浜出憲一郎（発達・自・水球・長田高）ハマイデ号もしくは浜公というあだ名に象徴されるように彼はとても弱い。高校時代には、誰とは言わないが、後輩のバシリ役だったらしい。そして彼の最大の失敗は8月にさかのぼる。彼は商船大のトイレで何を血迷ったのか、茶髪のヤンキー兄ちゃん

んが○ンコしているのをのぞいたのである。さらに、そこで目が合っしまい逃げもせず因縁つけられ、この後どうなったかは言うまでもなからう。それ以来いつもY田にいじめられている。彼はいわゆる“ゲラ”で耐え忍んでいるがあまりに痛々しい。しかしそんな彼も、実はリレメンで、水球にも挑戦する意欲的な面もある。が、これもY田から逃げるためだろう。

平山 道夫（工・水球・茨木高）試合中、いきなりぶちきれたりもするけれど、本当はかわいくてやさしいお兄ちゃん。真面目で、細身のその身体からは想像もできない持久力を備えている逸材。みんなに『ミッチー』としたわれ、ハンジさんのものまねが得意な彼は実は愉快的な奴かもしれない。

山田 篤（工・自長・天王寺高）自他ともに認める日本一の悪人である。よく、モノをとる話をしている。原付もとる予定だったが幸いにもただで手に入っしまい取り損ねた。しかしこれもとったと言えなくもない。リレメンでいられるのもこのあたりに原因がありそうだ。それもとにかくがめついからだ。六甲祭、さらに神戸外大祭でも壱万円、等の商品に目がくらんで競技に飛び入りしようとしたのはその証拠だ。しかしともに競合しジャン拳に敗れすぐに舞台を去っていることはここではふれない。コンパ等のときにはかなり飲むなどとぼしているが、これにもウラがありそうだ。ゆくゆくは部を乗っ取ってしまうことだろう。

大場 亮子（松蔭・マネージャー・聖霊高）彼女はいつもポーッとしているが今に始まったことじゃないらしい。しかし、彼女はポーッとしていながらも、ちゃんと将来のことは考えているようだ。小さいときの夢は「焼肉屋さんのお嫁さん」次が「ケーキ屋さんのお嫁さん」で理由と聞くと焼肉とケーキが大好きだからだそう……。ちなみに今は彼女の左の薬指を見て下さい。（彼女いわくポーッとしているが、マネージャーの仕事は彼女なりに頑張っているとのこと。）

加島 宏子（発達・個・長田高）ひろこちゃんはすごい人です。泳ぎの速さもそうだけど、授業もまじめに行ってるし、なんかいろんな事教えてもらったし。「ひろこ、ひろこ。」って言うしゃべり方、私好きやし。なんかやっぱりひろこちゃんはすごい人やわ。

執行 敦子（松蔭・自・鎮西学院高）お元気ですか？ あたし泳ぐの好きとさねー。初心者やけん練習きつかけどがんばるとよね。チャームポイントはメガネとさねー。やけん、あられちゃんに似るとよね。ちっちゃいけどしっかりしとるからまかせて!! でも、お酒はあんまり飲めんとよ。

高木美登里（松蔭・自・姫路東高）彼女は、大変がんばり屋さんである。六甲祭では同回のHさんとパワ女に出場して水着でお尻をつきだして、wonderful で beautiful で sexy なケツ字を披露したのである。こういう明るさと練習熱心さで、神大水泳部女性 No.1 キャラクターになる日もそう遠くはないだろう。

館石亜紀子（松蔭女短・平・北大和高）あきちゃんは、すごくがんばり屋さんだ。そのため彼女は泳ぐのが速くなってきている。そしてあきちゃんは、ネコ顔なので、とってもかわいらしい女の子である。本人は「えーやだぁー」と言っているが、私はそんなあきちゃんってかわいくていいなと思う。時々ドジなところもあるけど、何に対しても一生懸命なあきちゃん、これからもがんばってね。

堀内香予子（松蔭・自・豊中高）彼女はモデルのようなスタイルを持ち、日本語・英語はもちろんフランス語も話せるトライリンガルである。おまけに彼女はスキーが得意なパーフェクトガールである。今年も松蔭女子学院大学水泳同好会としてリレーに参加して、すばらしい成績を残してもらいたい。

森井 妙（医・マネージャー。神戸高）妙ちゃんは、見た目はしっかりしてそうで、実際そうなのだけれど、時々とってもぬけてるところがある。そのギャップが私は大好きだ。だけど将来彼女が看護婦さんになったら、優しくてよい看護婦さんになるんだろうけれど、時々ちょっとハラハラする…かもしれない。でも今のそんな妙ちゃんのままで、夏からもマネージャーの仕事がんばってね。



## 1995年度活動報告

昨年度、競泳では関西インカレにおいて、男子3部6位、女子2部5位、水球でも入れ替え戦まさかの敗退、そして2部降格と屈辱のシーズンであった。

シーズンオフに入り、神戸イトマンプールに加え、自衛隊プールでも練習が出来るようになり、来るべきシーズンに向け環境は整い、屈辱を晴らすべく、部員は練習に励んだ。しかし年が明け、まさかの阪神大震災。我々は練習場所を探すことから始めなければならなかった。改めて、練習が出来ることのありがたさを思い知らされることとなった。

春になり、新幹部に交代し、新入生を迎え、競泳は諫山主任のもと関カレ男子2部昇格、水球は大場主任のもと2部優勝、1部昇格を目標に、まだ寒さの残る六甲台プールでの練習が始まった。

震災という厳しい現実を乗り越え、部員たちはそれぞれの期待を胸に秘め、来るべき夏に備えたのであった。

(前主将 平山義浩 記)

- |     |                |                 |
|-----|----------------|-----------------|
| 4月  | 新入生歓迎コンパ       |                 |
| 5月  | 神戸四大学戦         | (2位)            |
| 6月  | 関西学生水球選手権      | (2部優勝)          |
|     | 兵庫学生選手権        | (男子6位 女子7位)     |
|     | 京阪神三大学対抗戦      | (3位)            |
| 7月  | 関西国公立大学選手権     | (男子7位 女子11位)    |
|     | 関西学生選手権        | (男子3部7位 女子2部6位) |
| 8月  | 全国国公立大学選手権     |                 |
|     | 旧三商大戦          | (優勝)            |
|     | 大阪市立大学・神戸大学対抗戦 | (優勝)            |
| 9月  | 関西学生水球秋期戦      | (6位)            |
|     | 月見の宴           |                 |
| 11月 | 六甲祭            |                 |
| 12月 | 追い出しコンパ        |                 |
| 1月  | 初泳ぎ            |                 |
| 3月  | 関西学生春季室内記録会    |                 |
|     | 春合宿            |                 |

## 神戸四大戦

新しい建てられたばかりだという神戸商船大室内プール（温水プールではない）で行われた神戸四大学定期戦は今回 初めて催されたものである。正確に言えば、今まで行われていた商船大、神戸商科大、神戸市外大の神戸三大学戦に今年から神戸大が加わったのであるが。

水が透明、向こう側が見える。ぬるぬるしないと喜ぶふびんな部員達の姿を見て我が校のプールの噴きつつ、始まった試合は私達の思っていた対抗戦と一味違ったものであった。普通のフリーレーなどに混じりビート板リレーや1分間レースなどがプログラムとしてあった。しかし、どんなレースでも神大は点をとりにいき、初参加ながら2位の賞状を頂いた。

多かれ少なかれ震災の影響を受けた神戸の大学同士が震災後に対抗戦を開くのも何かの縁かもしれない。これを機に今後も友好を深め、大会では競い合いたい。シーズンの健闘を祈りつつハイペースで宴の夜は更けていくのであった。

(松井記)

★神戸四大学定期戦 平成7年5月20日 於 神戸商船大学プール

### ・50m自由形

男	玉田	26-9
	濱出	27-6
	河原	28-1
女	堀内	36-3
	今村	37-8
	高木	40-8

### ・100m自由形

男	山田	57-9
	玉田	1-00-5
	宮崎	1-06-2
	河原	1-06-5
女	池永	1-13-8

### ・200m自由形

男	福岡	2-05-6
	山田	2-06-8
	宮崎	2-26-0
	磯山	2-44-2
女	番場	2-37-5
	松井	2-51-8

### ・400m自由形

男	福岡	4-36-6
	磯山	5-09-5
	北中	5-22-6

### ・50m蝶泳

男	楠橋	31-8
	北中	31-9
女	池永	36-8

### ・100m蝶泳

男	楠橋	1-11-3
---	----	--------

### ・200m蝶泳

男	楠橋	2-54-5
---	----	--------

### ・50m背泳

男	濱出	35-3
---	----	------

### ・100m背泳

女	吉川	1-25-1
	番場	1-27-8

### ・200m背泳

女	吉川	3-05-5
---	----	--------

・50m平泳

男 中村(浩) 41-4  
土井 44-4  
沖代 45-3

・100m平泳

男 安部 1-24-6  
中村(浩) 1-31-3  
女 今村 1-41-1

・200m平泳

男 安部 3-13-2

・100m個人

女 池永 1-22-9

・200m個人

男 福岡 2-37-1

・400個人

男 北中 6-15-7

・200mメドレーリレー

女 吉川・今村・番場・松井  
2-37-8

・400mメドレーリレー

男 福岡・河原・楠橋・山田  
4-42-98

・100mフリーリレー

女 松井・高木・堀内・番場  
1-04-4

・200mフリーリレー

男 演出・玉田・磯山・河原  
1-49-1

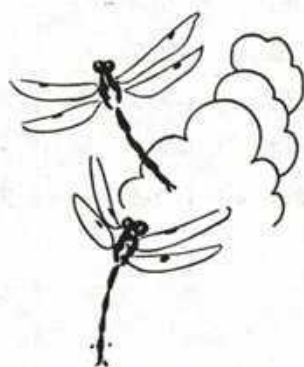
女 松井・番場・今村・池永  
2-19-6

・400mフリーリレー

男 福岡・玉田・演出・山田  
3-52-8

総合

- 1位 神戸商船大学
- 2位 神戸大学
- 3位 神戸商科大学
- 4位 神戸市外国語大学



# 京阪神三大学戦

今年の京阪神三大学戦は、京都大学プールで行われた。申し分ない天気の中での大会となったが結果は3位。きれいな50mプールに感激している場合ではなかった。内容の方はフリー陣の健闘が光ったものの、他種目であまりにも得点できずこの結果に終わった。失格者も目立ち、後の関国関カレに向け、多くの課題を残すこととなった。また同プールで行われた関、関、同のトップレベルの選手の泳ぎもみられ、非常にいい勉強になった。

(中村記)

★京阪神三大学対抗戦 平成7年6月17日 於 京都大学プール

<p>• 50m自由形</p> <p>玉田 27-09 (3位)</p> <p>平山(道) 27-73 (6位)</p> <p>諫山 28-09</p> <p>• 100m自由形</p> <p>濱出 1-00-02 (2位)</p> <p>玉田 1-00-51 (3位)</p> <p>諫山 1-02-99</p> <p>• 400m自由形</p> <p>山田 4-39-15 (1位)</p> <p>福岡 4-48-71 (2位)</p> <p>• 800m自由形</p> <p>福岡 9-39-09 (1位)</p> <p>山田 9-53-06 (2位)</p> <p>• 200m背泳</p> <p>吉川 3-05-41 (6位)</p> <p>井村 3-08-93 (8位)</p> <p>河原 3-16-33</p>	<p>• 200m平泳</p> <p>安部 3-09-58 (6位)</p> <p>• 200m蝶泳</p> <p>楠橋 2-44-65 (4位)</p> <p>• 200m個人</p> <p>尾下 2-41-81 (4位)</p> <p>北中 2-46-71 (6位)</p> <p>河原 3-01-40 (8位)</p> <p>• 400m個人</p> <p>北中 6-11-86 (6位)</p> <p>番場 6-23-93 (7位)</p> <p>• 400mメドレーリレー</p> <p>濱出・安部・楠橋・玉田</p> <p>4-50-22 (3位)</p> <p>• 800mリレー</p> <p>山田・濱出・玉田・福岡</p> <p>9-01-03 (1位)</p>	<p>◎総合</p> <p>1位 京都大学 133点</p> <p>2位 大阪大学 119点</p> <p>3位 神戸大学 98点</p>
---	--	---

# 輝 関大ポロ 口 京

2部での試合となった関ポロではあるが、全勝優勝でリーグを終ることができた。対市大で苦しい試合となるが、全員ががんばり、なんとか勝つことができた。他は龍谷戦で少しひやとしたことがあったものの、ほぼ全ての試合をあぶなげなく、勝利することができた。しかし、全体的に内容を見ると、ディフェンスが弱いのと、集中力のないのが目立ち、優勝したものの、完全に満足できるものではなかったと思う。

そして入替え戦。勝てると思っていたが負けた。試合終了3分前までは、絶対勝てると思っていたし、実際流れは神大にあったと思う。しかし負けた。悔しかった。 (大場記)

## ★関西学生水球リーグ戦 合録 平成7年6月3日～7月2日 於 大阪市立大学プール

神戸大学	Q	流通科学大学
20	計	0

神戸大学	Q	大阪工業大学
11	1	1
9	2	0
8	3	0
9	4	0
37	計	1

神戸大学	Q	神戸学院大学
0	1	0
2	2	1
5	3	3
7	4	0
14	計	4

- ※ 試合不成立
- 1. 井村
  - 2. 長野
  - 8. 梅本
  - 10. 平山(義)
  - 11. 平山(道)
  - 12. 服部
  - 13. 中尾
  - 1. 平山(義)
  - 2. 尾下
  - 3. 井上
  - 4. 中村(洋)
  - 5. 井村
  - 6. 平山(道)
  - 7. 大場
  - 8. 小柳
  - 9. 安井
  - 10. 鈴木
  - 11. 長野
  - 12. 服部
  - 13. 中尾
  - 8. 小柳
  - 9. 安井
  - 10. 鈴木
  - 11. 長野
  - 12. 服部
  - 13. 中尾
  - 7. 大場

神戸大学	Q	大阪経済大学
1	1	0
3	2	1
2	3	1
5	4	0
11	計	2

1. 平山(義)
2. 尾下
3. 井上
4. 中村(洋)
5. 井村 ⑤
6. 平山(道) ③
7. 大場 ②

8. 小柳
9. 安井
10. 鈴木 ①
11. 長野
12. 服部
13. 中尾

神戸大学	Q	大阪市立大学
0	1	0
0	2	0
1	3	2
3	4	0
4	計	2

1. 平山(義)
2. 尾下
3. 井上
4. 中村(洋)
5. 井村 ②
6. 平山(道)
7. 大場

8. 小柳
9. 安井
10. 鈴木
11. 長野
12. 服部 ②
13. 西野

神戸大学	Q	龍谷大学
1	1	0
2	2	0
2	3	2
1	4	2
6	計	4

1. 平山(義)
2. 尾下
3. 井上
4. 中村(洋)
5. 井村 ②
6. 平山(道)
7. 大場 ③

8. 小柳
9. 安井
10. 鈴木
11. 長野
12. 服部 ①
13. 西野

大阪工業大学	Q	神戸大学
0	1	4
0	2	9
1	3	5
0	4	7
1	計	25

1. 平山(義)
2. 尾下 ⑤
3. 井上 ①
4. 中村(洋) ②
5. 井村 ⑥
6. 平山(道) ④
7. 大場 ①

8. 小柳
9. 安井
10. 鈴木 ③
11. 長野 ③
12. 服部
13. 中尾

流通科学大学	Q	神戸大学
0	計	20

※ 試合不成立

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 中村(洋) | 10. 中尾    |
| 2. 尾下    | 11. 井村    |
| 8. 西野    | 12. 平山(道) |
| 9. 梅本    | 13. 平山(義) |

神戸学院大学	Q	神戸大学
2	1	2
0	2	1
1	3	1
1	4	1
4	計	5

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 平山(義) | 8. 小柳    |
| 2. 尾下    | 9. 安井    |
| 3. 森     | 10. 鈴木   |
| 4. 中村(洋) | 11. 長野 ① |
| 5. 井村 ①  | 12. 服部   |
| 6. 平山(道) | 13. 中尾   |
| 7. 大場 ③  |          |

大阪経済大学	Q	神戸大学
0	1	5
1	2	4
1	3	2
1	4	3
3	計	14

- |            |         |
|------------|---------|
| 1. 平山(義)   | 8. 小柳 ① |
| 2. 尾下 ②    | 9. 安井   |
| 3. 森       | 10. 鈴木  |
| 4. 中村(洋) ① | 11. 長野  |
| 5. 井村 ④    | 12. 服部  |
| 6. 平山(道) ③ | 13. 中尾  |
| 7. 大場 ③    |         |

大阪市立大学	Q	神戸大学
0	1	1
2	2	0
0	3	1
0	4	4
2	計	6

- |            |          |
|------------|----------|
| 1. 平山(義)   | 8. 小柳    |
| 2. 尾下      | 9. 安井    |
| 3. 井上      | 10. 鈴木 ① |
| 4. 中村(洋) ② | 11. 長野   |
| 5. 井村 ②    | 12. 服部   |
| 6. 平山(道) ① | 13. 中尾   |
| 7. 大場      |          |

龍谷大学	Q	神戸大学
3	1	5
1	2	1
4	3	3
1	4	3
9	計	12

- |           |        |
|-----------|--------|
| 1. 平山(義)  | 8. 小柳  |
| 2. 尾下     | 9. 安井  |
| 3. 井上     | 10. 鈴木 |
| 4. 中村(洋)② | 11. 長野 |
| 5. 井村 ⑤   | 12. 服部 |
| 6. 平山(道)① | 13. 中尾 |
| 7. 大場 ④   |        |

#### 1部

- 1位 関西学院大学
- 2位 大阪大学
- 3位 立命館大学
- 4位 大阪府立高専
- 5位 京都大学
- 6位 京都教育大学

#### 2部

- 1位 神戸大学
- 2位 大阪市立大学
- 3位 龍谷大学
- 4位 神戸学院大学
- 5位 大阪経済大学
- 6位 大阪工業大学

#### ベスト7

- ・大場
- ・井村

得点王 (1位 青木(龍谷) 43点)  
(2位 井村 33点)



## 兵庫インカレ

今年の兵庫インカレは社中学のプールで行われました。場所が場所だけに、交通手段が皆無で、浜出スポーツ社長の浜出氏はじめ多くの方にご協力いただきました。ここに感謝申し上げます。しかし実は神戸電鉄を使えばすぐ行けることに後で気付いた。プールは中学とは思えぬほどすばらしく、50mで観らん席もあり、水は透明ですばらしいものでした。しかし周りの田からの異臭が恐怖心をあおりました。結果は下記のとおりです。(沖代記)

### ★兵庫学生選手権水泳競技大会

平成7年6月25日

#### ・50m自由形

男 玉田 27-22  
 演出 27-71  
 諫山 28-04

#### ・100m自由形

男 山田 1-00-19  
 玉田 1-00-25  
 諫山 1-02-98

女 堀内 1-24-52

#### ・200m自由形

男 山田 2-08-62 (2位)  
 福岡 2-09-68 (3位)  
 宮崎 2-29-42

女 池永 2-42-65 (6位)  
 田所 2-51-53 (7位)  
 松井 2-54-40 (8位)

#### ・400m自由形

男 北中 5-14-27  
 磯山 5-24-57

女 池永 5-34-83 (7位)

#### ・100m蝶泳

男 楠橋 1-08-38

#### ・200m蝶泳

男 楠橋 2-40-78 (7位)

#### ・200m背泳

女 吉川 3-02-90

#### ・100m平泳

男 安部 1-27-08  
 中村(浩) 1-29-29  
 土井 1-47-50

女 館石 1-39-68

#### ・200m平泳

男 安部 3-07-40

#### ・200m個メ

女 番場 2-51-27 (7位)

#### ・400m個メ

男 北中 6-12-27

#### ・400mメドレーリレー

男 山田・中村(浩)・楠橋・演出  
 4-53-51

女 吉川・今村・番場・松井

5-43-20 (5位)

#### ・200mフリーリレー

女 田所・吉川・松井・番場  
 2-17-94

・400mフリーリレー

男 福岡・玉田・濱出・山田  
3-58-29 (5位)

女 番場・吉川・田所・松井  
5-15-66 (7位)

・800mフリーリレー

男 山田・濱出・玉田・福岡  
8-54-56 (4位)

◎総合

男 1位 関西学院大学184点	女 1位 武庫川女子大268点
2位 甲南大学 132点	2位 流通科学大学 59点
3位 流通科学大学101点	3位 関西学院大学 55点
4位 神戸商船大学 60点	4位 親和女子大学 30点
5位 姫路独協大学 47点	5位 兵庫教育大学 24点
6位 神戸大学 25点	6位 神戸外国語大 23点
	7位 神戸大学 21点
	// 神戸商科大学 21点

## 関西国公立戦

今年の関西国公立戦、結果だけを見れば、昨年と大差なく今年もダメだったかと思わせる結果であった。しかし言い訳をするわけではないが、昨年と比べると結果が同じであっても、どこか明るい感じのする試合内容であった。それは、やはり一回生の活躍によるところが大きい。個人種目にしろ、リレー種目にしろ、中心となってレースに出ているのは一回生である。このことを考えれば、この先大変楽しみである。その一方で女子はやはり昨年の四回生の抜けた穴は大きく、全国公にリレーで出場することができなかったのは大変残念であった。それだけでなく、女子は年々部員が減っているため、これからの活動そのものに不安が残る。

(福岡記)

★関西国立大学水泳競技大会 平成7年7月8日・9日 於 大阪府立臨海プール

・50m自由形

男 玉田 27-25  
濱出 27-35  
諫山 27-54

・100m自由形

男 濱出(予) 59-05  
(決) 59-16 (6位)  
玉田 1-00-11  
平山(道) 1-01-96

女 田所 1-16-62

・200m自由形

男 山田(予) 2-08-83  
(決) 2-08-58 (4位)  
福岡(予) 2-09-62  
(決) 2-11-02 (7位)

宮崎 2-26-90

女 松井 2-46-58  
田所 2-49-66

・400m自由形

男 山田(予) 4-41-08  
(決) 4-35-52 (6位)  
福岡(予) 4-44-60  
(決) 4-37-80 (8位)

磯山 5-13-59

女 松井(予) 6-03-69  
(決) 5-57-94 (7位)

・100m蝶泳

男 楠橋 1-07-67  
北中 1-15-62  
井村 1-16-75

・200m蝶泳

男 楠橋(予) 2-36-34  
(決) 2-37-93  
磯山 2-52-55

・100m背泳

男 大場(予) 1-10-01  
(決) 1-09-67  
森 1-15-98  
諫山 1-20-17

女 吉川(予) 1-28-33  
(決) 1-23-45 (5位)

・100m平泳

男 平山(義) 1-21-97  
安部 1-25-59  
女 今村 1-39-33

・200m平泳

男 中村(浩) 3-08-10  
安部 3-08-76  
女 今村 3-31-81

・200m個メ

男 長野 2-32-90  
尾下 2-42-32  
河原 2-49-78

女 番場(予) 3-01-70  
(決) 2-48-02 (3位)

・400m個メ

男 長野 5-26-73  
北中 6-19-87

女 番場(決) 5-55-99 (2位)

・400mメドレーリレー

男 大場・長野・楠橋・福岡  
4-35-82 (4位)

女 吉川・今村・番場・田所  
5-43-70

・200mフリーリレー

女 松井・吉川・田所・番場  
2-17-53

・400mフリーリレー

男 濱山・山田・福岡・玉田  
3-56-31 (4位)

女 番場・今村・田所・松井  
5-06-49

・800mフリーリレー

男 山田・福岡・濱出・長野  
8-48-42 (6位)

◎総合

男 1位 大阪大学 117点  
2位 京都大学 95点  
3位 大阪教育大学 93点  
4位 大阪府立大学 67点  
5位 京都教育大学 45点  
6位 神戸商船大学 40点  
7位 神戸大学 27点

女 1位 大阪教育大学 145点  
2位 奈良教育大学 63点  
3位 京都大学 61点  
4位 和歌山大学 39点  
5位 奈良女子大学 32点  
6位 大阪外国語大 29点  
7位 神戸外国語大 25点  
" 大阪府立大学 24点  
9位 京都教育大学 24点  
10位 大阪市立大学 23点  
11位 神戸大学 19点

## 関西インカレ

今年は、扇町プールでの関西インカレとなった。男子は2部昇格、女子2部残留を、目標として挑んだ訳であるが結果は、下記のようになった。実際戦ってみると、チームとしての上位との実力差は、かなりなものであることが感じたが、内容としては、男子は昨年と異なり、争える予感を伴う試合ぶりであった。

例えば、リレーに関しては、メンバーの中心が1、2回生であるのにも関わらず、神大新記録で入賞した。そのおかげか、試合の雰囲気がいっつもよりよかったように思える。抜ける戦力よりも、現戦力の底上げ、および新戦力の加入を考えれば、来年の関カレはかなり面白い存在になるであろう。課題は山ほどあるが、自由形以外の補強が、急がれる。また、今回わずかな点数で入賞をのがしたのは、日頃の主力の抜けた穴を全員でカバーできた結果であろう。次の課題は言うまでもなく新戦力の加入であろう。一つでもレベルアップにつながる、そんな状態を維持していきたい。決勝にでる者は優勝を、予選のみの者は決勝を、試合にでれない者は試合にでることを、一人一人の目標が達成され続ければ、チームの目標が達成されることを信じたい。ただ忘れてはいけないことは、競泳を楽しむと言うこと。

競泳の景気は上りじょうしです。試合に足を運んでください。

(諫山記)

関西学生選手権水上競技大会 平成7年7月30日・31日・8月1日 於 大阪プール

### ・50m自由形

男 濱出(予) 25-56  
(決) 26-42 (8位)  
玉田 27-24  
河原 28-88

女 堀内 35-63  
高木 39-04

### ・100m自由形

男 濱出(予) 58-63  
(決) 58-79 (8位)  
玉田 59-35  
諫山 1-00-82

### ・200m自由形

男 福岡(予) 2-08-94  
(決) 2-07-72 (1位)  
山田(予) 2-10-85  
(決) 2-08-37 (3位)  
宮崎 2-23-72

女 田所(予) 2-49-63  
(決) 2-47-30 (7位)

### ・400m自由形

男 福岡(予) 4-34-16  
(決) 4-28-27 (1位)  
山田(予) 4-36-19  
(決) 4-32-09 (4位)  
磯山 5-00-30

女 池永(予) 5-42-52  
(決) 5-34-02 (6位)  
田所(予) 5-58-61  
(決) 5-57-41  
松井(予) 6-00-16  
(決) 5-55-15 (7位)

・800m自由形  
女 池永(決) 11-30-24 (3位)

・1500m自由形  
男 長野(決) 20-18-41 (8位)

・100m蝶泳  
男 楠橋(予) 1-07-54  
(決) 1-07-39 (7位)

・200m蝶泳  
男 楠橋(予) 2-37-52  
(決) 2-35-47 (4位)  
服部(予) 3-00-80  
(決) 2-51-66 (8位)

・100m背泳  
男 大場(予) 1-09-90  
(決) 1-09-42  
森 1-19-16

女 吉川(予) 1-25-72  
(決) 1-23-31 (4位)

・200m背泳  
女 吉川(予) 3-03-90  
(決) 3-04-69 (4位)

・100m平泳  
男 平山(義) 1-21-37  
安部 1-24-00  
中村(浩) 1-24-05

女 今村 1-38-07  
館石 1-39-66

・200m平泳  
男 平山(義) 2-59-93  
中村(浩) 3-02-79  
安部 3-07-15

女 今村 3-28-24

・200個メ  
男 河原 2-46-59  
諫山 2-48-62  
北中 2-49-89

女 加島(予) 2-49-20  
(決) 2-45-03  
番場(予) 2-55-76  
(決) 2-50-24

・200個メ  
男 北中(予) 5-58-07  
(決) 6-06-77 (8位)

女 加島(決) 5-48-97 (3位)  
番場(決) 5-58-71 (5位)

・400mメドレーリレー  
男 大場・長野・楠橋・濱出  
4-34-70

女 吉川・番場・加島・田所  
5-21-40 (3位)

・200mフリーリレー  
女 堀内・高木・館石・池永  
2-21-45  
番場・松井・田所・加島  
2-10-03

・400mフリーリレー  
男 山田・福岡・濱出・玉田  
3-53-44 (4位)  
女 番場・松井・田所・加島  
4-51-39 (4位)

・800mフリーリレー  
男 福岡・山田・濱出・長野  
8-44-22 (3位)

◎総合

男 (3部)  
1位 大阪経済大学 86点  
2位 姫路独協大学 84点  
3位 大阪商業大学 70点  
4位 京都教育大学 61点  
" 大阪工業大学 61点  
6位 摂南大学 53点  
7位 神戸大学 52点

女 (2部)  
1位 大阪教育大学 145点  
2位 桃山学院大学 133点  
3位 京都教育大学 66点  
4位 京都大学 60点  
5位 近畿大学 51点  
6位 神戸大学 47点

## 全国国公立戦

私は、この大会の出場権を得るために日々練習していました。私がしんどい思いをして泳ぐのは、この大会に出場するためでした。二年の頃はこの大会にそれほどのこだわりは無く、気づいたら出場権を得ていたという感じでした。けど今回は違いました。制限タイムが厳しくなったのが最大の理由でしたが、どうしても切れませんでした。「自分はもうこれ以上速くなれない」と、限界を感じました。だから関国で三位以内に入って出場権を得たときは嬉しいのは嬉しかったですが、最後まで制限タイムが切れなかった自分が情けなかった。

大会の行われたレインボープールは、普段あの六甲台プールを見慣れている私にとっては、目を見張る美しさで、輝いて見えました。そんな中で全国から集まった選手たちと共に泳いで、自分の力の無さを思い知らされました。タイムはさっぱりだめで、こんなので全国大会に出ているのが恥ずかしかった。だが、いい経験になりました。

私はだめでしたが、二年の福岡君が決勝に残る力泳を見せてくれました。福岡君には失礼ですが、まさか決勝に残るとは思っていませんでした。年々レベルが上がる中での快挙、本当によくがんばってくれたと思います。

今回はたった二人しか出場できませんでしたが、有望な後輩が多いので、次は大勢でにぎやかに全国大会への旅ができと思っています。

最後になりましたが、応援に来てくださった方、してくださった方、有り難うございました。大変嬉しかったです。

(番場記)

### ★全国国立大学選手権水泳競技会

平成7年8月8日・9日 於 名古屋市総合体育館レインボープール

・400m自由形

男 福岡(予) 4-25-62

(決) 4-29-90

・200個メ

女 番場 2-51-07

・400個メ

女 番場 5-57-67

## 旧三商大戦

今年の三商戦は、例年と違い、市大戦より先に行われた。大阪市立大学プールで行われたこの大会では、競泳の部は神大が市大と接戦の末、優勝した。水球の部では一橋大にも市大にも負けてしまい、残念ながら3位という結果に終わった。しかし結局、総合では神大が優勝した。

試合の後のコンパでは例年のごとく、ほぼ全員がプールに落ちて盛り上がった。そのコンパが終わると、神大の人々は次々と帰っていったが、僕は着替えの入ったバッグが見つからず、12時頃までプールを漂い、水着とジャージという姿で市大に泊まり、結局次の日の昼頃まで市大に残るという羽目になってしまったのであります。(安部記)

★旧三商大水上競技大会 平成7年8月13日 於 大阪市立大学プール

〈競泳〉

・100m自由形

濱出 59-4 (2位)

玉田 1-00-7 (4位)

・400m自由形

山田 4-38-1 (2位)

磯山 5-10-7 (5位)

・800m自由形

福岡 9-33-4 (1位)

山田 9-44-4 (3位)

・200m蝶泳

楠橋 2-41-9 (1位)

福岡 2-50-3 (2位)

・200m背泳

濱出 2-47-5 (2位)

吉川 3-07-0 (4位)

・200平泳

長野 2-53-3 (2位)

中村(浩) 3-01-7 (4位)

・200個メ

大場 2-34-4 (2位)

加島 2-51-2 (4位)

・400mメドレーリレー

大場・長野・楠橋・玉田

4-41-6 (2位)

・800mフリーリレー

長野・山田・玉田・福岡

8-58-2 (1位)

◎総合

1位 神戸大学

2位 大阪市立大学

3位 一橋大学

〈水球〉

神戸大学	Q	一橋大学
1	1	2
2	2	2
2	3	1
2	4	2
1	延前	0
0	延後	2
8	計	9

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1. 平山 (義)   | 8. 小柳    |
| 2. 尾下       | 9. 成田 ①  |
| 3. 森        | 10. 鈴木 ① |
| 4. 中村 (洋) ① | 11. 長野   |
| 5. 井村 ②     | 12. 服部 ③ |
| 6. 平山 (道)   | 13. 中尾   |
| 7. 大場       |          |

神戸大学	Q	大阪市立大学
0	1	3
1	2	2
1	3	3
1	4	3
3	計	11

- |           |         |
|-----------|---------|
| 1. 平山 (義) | 8. 小柳   |
| 2. 尾下     | 9. 成田 ① |
| 3. 森      | 10. 鈴木  |
| 4. 中村     | 11. 梅本  |
| 5. 井村 ②   | 12. 服部  |
| 6. 平山 (道) | 13. 中尾  |

一橋大学 vs 大阪市立大学

11                      3

- 1位 一橋大学  
2位 大阪市立大学  
3位 神戸大学

## 市 大 戦

今年の市大戦は、神大の六甲台プールで行われた。今年は少し前に水を替えたばかりだったので、市大の人々は、このプールの水が透明であることに驚いていた様子だった。

さて競技の方であるが、競泳では市大に大差で優勝。水球の試合でも市大に勝ち、三商戦の雪辱を果たした。

この日は少し涼しかったせいか、この後のコンパではプールに落ちる人はあまりいなかった。

(安部記)

★大阪市立大学神戸大学対抗水上競技大会 平成7年8月20日 於 神戸大学六甲台プール

〈競泳〉

・100m自由形

演出	57-9 (1位)
玉田	58-1 (2位)
諫山	59-3 (3位)

・400m自由形

山田	4-40-7 (1位)
福岡	4-45-4 (2位)
尾下	5-11-3 (4位)

・800m自由形

福岡	9-32-6 (1位)
山田	9-48-3 (2位)
田中	10-58-0 (4位)

・200m蝶泳

磯山	2-42-1 (1位)
楠橋	2-44-6 (2位)
服部	3-03-4 (4位)

・200m背泳

森	2-42-0 (2位)
演出	2-47-6 (3位)
加島	2-50-8 (4位)

・200m平泳

長野	2-49-9 (2位)
平山(義)	2-49-9 (3位)
中村(浩)	2-57-9 (6位)

・200個メ

長野	2-36-7 (2位)
尾下	2-39-9 (4位)
加島	2-42-7 (6位)

・400mメドレーリレー

福岡・服部・楠橋・山田	4-30-6 (2位)
-------------	-------------

・800mフリーリレー

玉田・長野・山田・福岡	8-40-3 (1位)
-------------	-------------

◎総合(競泳)

- 1位 神戸大学  
2位 大阪市立大学

〈水球〉

神戸大学	Q	大阪市立大学
3	1	3
2	2	1
5	3	4
3	4	2
13	計	10

1. 平山(義)                      8. 演出  
2. 尾下                              9. 成田 ⑥  
4. 中村(洋) ②                      10. 中尾  
5. 井村 ①                            11. 長野 ①  
6. 平山(道) ③                      12. 梅本  
7. 森

関 ポ ロ Jr.

この年の最後の対外試合であったが、特に立命館戦は印象に残っている。試合は負けたが、この試合でチームとしても個人としても点差以上にひどく力の差を感じた。と同時にもっと根本的なレベルアップの必要性をも感じた。(森記)

★関西学生水球秋期戦 平成7年9月15日～17日 於 京都大学プール

神戸大学	Q	名古屋大学
3	1	0
3	2	2
2	3	2
2	4	0
10	計	4

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1. 平山 (義)   | 8. 土井    |
| 2. 尾下       | 9. 成田 ②  |
| 3. 森        | 10. 濱出   |
| 4. 中村 (洋) ② | 11. 西野   |
| 5. 梅本       | 12. 服部 ② |
| 6. 平山 (道) ③ | 13. 中尾   |
| 7. 大場 ①     |          |

神戸大学	Q	立命館大学
1	1	2
0	2	3
0	3	6
0	4	4
1	計	15

- |           |         |
|-----------|---------|
| 1. 平山 (義) | 8. 土井   |
| 2. 尾下     | 9. 成田 ① |
| 3. 森      | 10. 中尾  |
| 4. 中村 (洋) | 11. 西野  |
| 5. 梅本     | 12. 服部  |
| 6. 平山 (道) | 13. 濱出  |
| 7. 大場     |         |

大阪工業大学	Q	神戸大学
0	1	6
1	2	5
1	計	11

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1. 平山 (義)   | 8. 土井    |
| 2. 尾下 ①     | 9. 成田 ③  |
| 3. 森        | 10. 中尾 ① |
| 4.          | 11. 西野   |
| 5. 梅本       | 12. 服部 ③ |
| 6. 平山 (道) ③ | 13. 濱出   |
| 7.          |          |

神戸大学	Q	京都大学
1	1	2
2	2	2
3	計	4

- |             |         |
|-------------|---------|
| 1. 平山 (義)   | 8. 土井   |
| 2. 尾下       | 9. 成田 ① |
| 3. 森        | 10. 中尾  |
| 4. 中村 (洋)   | 11. 西野  |
| 5. 梅本       | 12. 服部  |
| 6. 平山 (道) ② | 13. 濱出  |
| 7. 大場       |         |

- 1位 関西学院大学
- 2位 立命館大学
- 3位 大阪府立大学
- 4位 大阪大学
- 5位 京都大学
- 6位 神戸大学



# 歴代 10 傑表

〔表の見方〕

長水路・短水路 総合順位	名 前	記録をだした 年 度	記 録 (L・長水路 S・短水路)	長水路のみの 順 位
-----------------	-----	---------------	----------------------	---------------

〔男子〕

50m自由形

1	中畑 寛之	H 4	26-1 (L)	1
	竹田 匡志	H 6	26-1 (L)	1
3	演出憲一郎	H 7	26-4 (L)	3
4	浜川 広海	S 26	26-6 (L)	4
	木村 一也	H 2	26-6 (L)	4
6	奥村 直樹	S 63	26-7 (L)	6
7	上山 敏正	H 3	26-9 (L)	7
	渡辺 雅人	H 5	26-9 (L)	7
9	玉田 浩介	H 7	27-0 (L)	9
10	井上 聡	S 63	27-1 (S)	

100m自由形

1	後呂 忠詳	S 61	56-7 (S)	
		S 62	58-0 (L)	4
2	川原田 貢	S 57	57-1 (S)	
		59	57-3 (L)	1
3	東 圭紀	S 63	57-3 (S)	
4	竹田 匡志	H 6	57-43 (L)	2
5	木村 一也	H 3	57-8 (L)	3
6	金 一波	S 56	58-6 (S)	
	演出憲一郎	H 7	58-63 (L)	5
8	中畑 寛之	H 4	58-7 (L)	6
9	浜川 広海	S 26	58-8 ( )	
	杉山 和広	S 53	58-8 (S)	

200m自由形

1	福岡 達信	H 7	2-07-46(L)	1
2	川原田 貢	S 59	2-07-5 (L)	2
3	木村 一也	H 3	2-08-0 (L)	3
4	山田 篤	H 7	2-08-37(L)	4
5	久保田勝己	S 58	2-08-5 (S)	
6	浜川 広海	S 26	2-09-0	
	当麻 尚正	H 2	2-09-0 (S)	
8	後呂 忠詳	S 62	2-10-2 (S)	
9	井上 聡	H 3	2-10-3 (S)	
10	古谷 拓裕	S 62	2-10-7 (L)	5

400m自由形

1	福岡 達信	H 7	4-25-62(L)	1
2	山田 篤	H 7	4-32-09(L)	2
3	古谷 拓裕	S 63	4-36-0 (L)	3
4	久保田勝己	S 58	4-37-4 (L)	4
5	当麻 尚正	H 2	4-38-2 (L)	5
	山田 基洋	H 5	4-38-20(L)	5
7	藤本 博之	H 4	4-42-8 (L)	7
8	上田 純也	H 6	4-46-0 (L)	8
9	高倉 信之	H 3	4-46-1 (S)	
10	井上 聡	H 1	4-46-6 (S)	

## 800m自由形

1	福岡 達信	H 7	9-33-4 (L)	1
2	山田 篤	H 7	9-44-4 (L)	2
3	古谷 拓裕	S 63	9-36-8 (L)	3
4	藤本 博之	H 2	9-44-5 (S)	
		H 3	9-45-9 (L)	4
5	久保田勝己	S 56	9-47-4 (S)	
		S 57	9-49-0 (L)	5
6	山田 基洋	H 5	9-56-1 (L)	6
7	上田 純也	H 6	10-09-31(L)	7
8	近藤 直明	S 60	10-11-7 (L)	8
9	高倉 信之	H 3	10-15-6 (S)	
10	中川 善雄	S 60	10-19-2 (S)	
			10-25-0 (L)	9

## 1500m自由形

1	古谷 拓裕	S 63	18-28-5 (L)	1
2	藤本 博之	H 4	18-34-0 (L)	2
3	久保田勝己	S 58	18-37-5 (L)	3
4	山田 基洋	H 5	18-50-16(L)	4
5	近藤 直明	S 62	19-20-1 (L)	5
6	長野 稔	H 6	19-27-21(L)	6
7	高倉 信之	H 3	19-48-6 (L)	7
8	上田 純也	H 5	19-48-9 (L)	8
9	岡崎 憲之	H 1	20-01 (L)	9
10	中川 善雄	S 60	20-07-0 (L)	10

## 100mバタフライ

1	小南 裕明	S 63	1-01-4 (L)	1
2	竹田 匡志	H 6	1-01-99(L)	2
3	加藤 有道	H 3	1-02-9 (L)	3
4	当麻 尚正	H 2	1-03-5 (L)	4
5	吉岡 宏之	S 58	1-04-0 (L)	5
	坂田 純孝	S 49	1-04-0 (L)	6
7	高岡英一郎	H 1	1-04-6 (L)	7
8	佐敷 定雄	S 48	1-04-8 (L)	8
9	郡 幸雄	S 60	1-05-0 (L)	9
10	小堀 真樹	H 5	1-05-15(L)	10

## 200mバタフライ

1	小南 裕明	H 5	2-14-84(L)	1
2	加藤 有道	H 3	2-21-9 (L)	2
3	当麻 尚正	H 2	2-24-2 (L)	3
4	郡 幸雄	S 60	2-24-6 (L)	4
5	坂田 純孝	S 59	2-26-6 (L)	5
6	高岡英一郎	H 4	2-27-3 (L)	6
7	佐敷 定雄	S 48	2-29-69	7
8	小堀 真樹	H 5	2-30-8 (L)	8
9	吉岡 宏之	S 57	2-34-0 (S)	
10	岡崎 憲之	S 62	2-34-6 (L)	9

## 100m背泳

1	徳永 守	S 62	1-06-2 (S)	
		S 60	1-07-9 (L)	3
2	小笠原朝隆	S 64	1-06-6 (L)	1
3	杉山 和弘	S 53	1-07-7 (S)	
		H 5	1-07-7 (L)	2
5	吉田不二彦	S 59	1-08-6 (L)	4
		H 1	1-08-6 (L)	4
	大場 理世	H 5	1-08-69(L)	4
8	坂田 純孝	S 58	1-08-7 (S)	
9	川原田 貢	S 59	1-09-6 (S)	
10	浅川 明弘	S 62	1-10-3 (S)	
		H 2	1-10-5 (L)	7

## 200m背泳

1	小笠原朝隆	S 63	2-26-2 (L)	1
2	井上 達晃	S 63	2-26-8 (L)	2
3	上山 敏正	H 5	2-29-1 (L)	3
4	徳永 守	S 60	2-29-7 (L)	4
5	坂田 純孝	S 56	2-30-4 (S)	
6	吉田不二彦	S 58	2-31-2 (S)	
7	杉山 和弘	S 54	2-34-1 (S)	
		S 53	2-34-2 (L)	5
8	大場 理世	H 6	2-34-30(L)	6
9	木村多加緒	S 43	2-34-8 (S)	
		S 43	2-37-0 (L)	9
10	酒井 正人	S 52	2-35-2 (S)	

## 100m平泳

1	後呂 忠詳	S 61	1-10-5 (L)	1
2	柴田 孝	H 5	1-10-81(L)	2
3	西尾 泰紀	H 4	1-12-6 (L)	3
4	林 均	S 62	1-12-9 (S)	
5	笠田 幸介	H 2	1-13-3 (S)	
		H 1	1-14-4 (L)	5
6	長崎 真人	S 57	1-13-6 (S)	
		S 58	1-14-0 (L)	4
7	鈴木 俊彦	S 42	1-14-2 (S)	
		S 42	1-14-7 (L)	6
8	慈幸 弘樹	S 53	1-15-3 (S)	
		S 53	1-16-8 (L)	9
9	浦野 俊明	S 58	1-15-6 (L)	7
10	守沖 敦	S 63	1-16-4 (L)	8

## 200m個人メドレー

1	東 圭紀	H 2	2-20-4 (L)	1
2	木村 一也	H 2	2-24-1 (L)	2
3	当麻 尚正	H 2	2-25-8 (L)	3
4	小南 裕明	H 5	2-26-2 (L)	4
5	浦野 俊明	S 59	2-29-5 (L)	5
6	長野 稔	H 6	2-30-0 (L)	6
7	藤本 克彦	H 4	2-30-5 (L)	7
8	後呂 忠詳	S 60	2-31-0 (L)	8
9	原田久富美	S 60	2-30-7 (L)	9
	小笠原朝隆	S 63	2-32-7 (L)	9

## 400mメドレーリレー

1	上山・柴田・小南・竹田	4-18-44	H 5
2	小笠原・林・小南・東	4-19-2	H 1
3	上山・西尾・小南・木村	4-19-9	H 4
4	小笠原・林・小南・東	4-20-0	S 63
5	小笠原・後呂・郡・浜田	4-21-1	S 61

## 200m平泳

1	柴田 孝	H 5	2-36-59(L)	1
2	後呂 忠詳	S 60	2-37-9 (L)	2
3	長崎 真人	S 58	2-40-5 (L)	3
4	笠田 幸介	H 2	2-41-8 (L)	4
5	西尾 泰紀	H 3	2-42-6 (L)	5
6	林 均	H 1	2-43-6(L)	6
7	平石 康	S 52	2-45-3 (S)	
8	鈴木 俊明	S 43	2-45-5	7
9	有利 英明	S 62	2-45-6	
10	藤本 克彦	H 1	2-46-6 (L)	8

## 400m個人メドレー

1	東 圭紀	S 63	5-06-1 (L)	1
2	当麻 尚正	H 2	5-13-4 (L)	2
3	浦野 俊明	S 59	5-20-3 (L)	3
4	古谷 拓裕	S 63	5-20-7 (L)	4
5	長野 稔	H 6	5-22-05(L)	5
6	藤本 克彦	H 4	5-22-2 (L)	6
7	山本 隆	S 53	5-25-9 (S)	
		S 53	5-43-6 (L)	9
8	村田 功	S 62	5-34-6 (S)	
9	久保田勝己	S 56	5-38-4 (S)	
10	原田久富美	S 60	5-40-1 (S)	

## 400mリレー

1	山田・福岡・濱出・玉田	3-53-44	H 7
2	上田・上山・柴田・竹田	3-55-13	H 5
3	竹田・小南・木村・中畑	3-55-4	H 4
4	中畑・木村・東・井上	3-55-5	H 2
5	中畑・井上・木村・東	3-56-3	H 2
	濱出・山田・福岡・玉田	3-56-31	H 7

## 800mリレー

1	福岡・山田・演出・長野	8-44-22	H 7
2	山田・上田・竹田・小南	8-45-47	H 5
3	木村・山田・藤本・加藤	8-46-5	H 3
4	当麻・小南・井上・東		H 2
	当麻・井上・小南・東	8-47-8	H 2
5	山田・木村・藤本・小南	8-47-9	H 4

## 〔女子〕

## 50m自由形

1	寺井美穂子	H 4	30-4 (L)	1
2	小笠原恭子	H 4	30-69 (L)	2
3	村上 美和	S 63	30-9 (L)	3
4	宮下 静子	H 2	31-8 (S)	
5	井上 優子	H 4	32-27 (L)	4

## 200m自由形

1	川上 景子	S 62	2-26-4 (L)	1
2	小笠原恭子	H 3	2-30-20(L)	2
3	寺井美穂子	H 4	2-31-0 (L)	3
4	坂東 美枝	S 56	2-32-6 (S)	
5	山口 敦子	S 60	2-37-4 (L)	4

## 100mバタフライ

1	寺井美穂子	H 4	1-08-02(L)	1
2	坂東 美枝	S 57	1-14-3 (S)	
3	川上 景子	S 60	1-20-9 (L)	2
4	宮下 静子	H 1	1-21-8 (S)	
5	大野 智恵	S 52	1-25-6 (S)	

## 100m背泳

1	村川 美和	S 61	1-16-8 (L)	1
2	寺井美穂子	H 6	1-18-7 (S)	
3	坂東 美枝	S 58	1-21-7 (S)	
4	吉川 智子	H 5	1-23-27(L)	2
5	寛 朋子	H 2	1-23-8 (L)	3

## 100m自由形

1	寺井美穂子	H 3	1-06-78(L)	1
2	小笠原恭子	H 4	1-07-77(L)	2
3	川上 景子	S 61	1-07-9 (L)	3
4	番場 順子	H 7	1-09-82(L)	4
5	村上 美和	S 60	1-10-7 (L)	5

## 400m自由形

1	川上 景子	S 60	5-12-5 (L)	1
2	坂東 美枝	S 56	5-18-5 (S)	
3	小笠原恭子	H 3	5-28-1 (L)	2
4	山口 敦子	S 60	5-28-7 (L)	3
5	番場 順子	H 7	5-33-3 (L)	4

## 200mバタフライ

1	寺井美穂子	H 3	2-33-05(L)	1
2	坂東 美枝	S 57	2-44-77(L)	2
3	川上 景子	S 60	3-00-7 (S)	
4	大野 智恵		3-26-9	
5	嶋田 陽子	S 55	3-32-4 (L)	3

## 200m背泳

1	村川 美和	S 63	2-48-4 (L)	1
2	寺井美穂子	H 6	2-49-19(L)	2
3	吉川 智子	H 5	2-56-37(L)	3
4	坂東 美枝	S 56	2-58-6 (S)	
5	寛 朋子	H 2	2-59-3 (L)	4

## 100m平泳

1	宮下 静子	S 63	1-27-5 (L)	1
2	松井 玲子		1-30-2	2
3	番場 順子	H 6	1-30-78(L)	3
4	川島えみ子	S 56	1-32-0 (S)	
5	国本 温代		1-33-1 (S)	

## 200m個人メドレー

1	寺井美穂子	H 3	2-43-4 (L)	1
2	加島 宏子	H 7	2-45-03(L)	2
3	川上 景子	S 60	2-45-5 (L)	3
4	番場 順子	H 7	2-48-02(L)	4
5	坂東 美枝	S 56	2-54-5 (L)	5

## 400mメドレーリレー

1	吉川・番場・寺井・小笠原	5-08-8	H 5
2	吉川・番場・寺井・小笠原	5-10-45	H 6
	“	5-10-57	H 6
	“	5-13-28	H 6
	“	5-19-50	H 6
3	吉川・番場・加島・田所	5-21-40	H 7
4	小笠原・今村・寺井・坂上	5-22-7	H 4
5	村上・宮下・川上・枝沢	5-23-1	S 63
	“	5-26-9	S 63
	“	5-27-2	S 63
	“	5-27-5	S 63

## 400mリレー

1	伊藤・番場・松井・小笠原	4-40-5	H 5
2	番場・松井・小笠原・寺井	4-40-81	H 6
	寺井・松井・番場・小笠原	4-41-10	H 6
3	寺井・坂上・井上・小笠原	4-41-5	H 4
	寺井・坂上・井上・小笠原	4-44-7	H 4
4	川上・村上・山口・木村	4-45-1	S 60
5	川上・村上・加地・林	4-50-1	S 61

## 200m平泳

1	川上 景子	S 61	3-06-2 (S)	
		S 60	3-10-2 (L)	2
2	番場 順子	H 7	3-07-8 (L)	1
3	宮下 静子	S 63	3-12-6 (L)	3
4	川島えみ子	S 58	3-16-6	4
5	坂東 美枝		3-17-6 (S)	

## 400m個人メドレー

1	加島 宏子	H 7	5-48-97(L)	1
2	川上 景子	S 62	5-53-0 (L)	2
3	寺井美穂子	H 6	5-54-07(L)	3
4	番場 順子	H 7	5-55-99(L)	4
5	坂東 美枝	S 56	6-04-0 (S)	

## 200mリレー

1	寺井・松井・番場・小笠原	2-06-89	H 6
2	寺井・坂上・井上・小笠原	2-06-9	H 4
3	寺井・番場・伊藤・小笠原	2-08-03	H 5
4	木村・山口・村上・川上	2-08-3	S 60
5	宮下・枝沢・村上・川上	2-08-6	S 63
	“	2-09-1	S 63

## 会 員 異 動

(平成8年3月末日現在)

(注) ◎印のあるのは居住地関係、無いのは勤務先関係、

\* は出身校 ……は変更の無い部分を、

○○→○○は変更、訂正を示します。

### 異 動・訂 正

- 池谷 俊一(昭10) 御逝去
- 井上 隆史(昭37) ◎〒225 横浜市青葉区荏田西5-16-15 ☎045-913-3545
- 夏見 昭次(昭38) 御逝去
- 藤岡 治男(昭38) 東大阪市教育研究所(所長) 〒578 東大阪市荒川3-4-21 ☎06-727-0112
- 印南 修三(昭49) ◎〒349 南埼玉郡白岡町新白岡3-41-720
- 亀井 尚之(昭56) ◎台湾台北市忠誠路1段147巷1號4樓  
4 F,147-1,Section 1,Chung cheng Road,Taipei Taiwan  
☎886-(2)-835-9450
- 白子 靖則(昭57) ◎〒225 横浜市青葉区あざみ野1-12-15-302
- 嶋田 陽子(昭57) ◎〒225 横浜市青葉区元石川町3713-2-401
- 金 一波(昭58) ◎大阪市天王寺区堂ヶ芝1-5-11 ☎06-771-0626
- 田中 俊哉(昭38) ◎千葉県松戸市西馬橋幸町109 三洋電気松戸荘104号室
- 土井 健治(昭60) ◎〒900 那覇市字上之屋331-1 ヴィラ上之屋101号 ☎098-869-5466
- 中川 善雄(昭62) ◎〒631 奈良市左京3-6-5-406
- 後呂 忠詳(昭63) ◎高槻市浦堂2-2-1-206
- 甲野 賢(昭63) ◎〒658 神戸市東灘区御影中町4丁目5-28-402
- 近藤 直明(昭63) ◎6-5-2 → 2丁目16-1鷺沼大竹ハイツ305
- 恵理(旧井口)(昭63) ※電話は同じ
- 羽瀬 智文(平2) ◎兵庫県三田市武庫之丘5-1 セントラルヒルズI棟103
- 枝澤百合子(平2) 県立芦屋高等学校 〒659 芦屋市宮川町6-3 ☎0797-32-2325代
- 柴田 英之(平3) ◎〒229 神奈川県相模原市下九沢2130-1-602 ☎0427-70-3660
- 小南 裕明(平4) 神戸大学医学部付属病院耳鼻咽喉科  
◎〒652 神戸市兵庫区福原町31-2 シャトー神戸第4-409号室  
☎078-512-2433
- 下坂 浩(平5) 住友銀行今里視点 〒537 大阪市東成区大今里西2-17-19 ☎06-971-8235  
◎〒578 東大阪市花園東町2-15-4 住友銀行花園寮 ☎0729-66-1089

- 松下 直子(平6) ◎〒658 神戸市東灘区御影中町2-5-3-2A ☎078-843-8125  
 (旧 武田)
- 小笠原恭子(平7) 中部電力㈱岡崎営業所料金課 〒444 岡崎市戸崎町字大道東7  
 ◎〒445 西尾市高島町3-75
- 斉藤 雅子(平7) ◎神戸市西区森友5丁目86 スプリングハイッ107号 ☎078-924-4838

### 新 入 正 会 員

(平成8年3月卒業者:第44回生)

- 磯山 正則(平8) 大阪商船三井船舶㈱ 〒105-91 東京都港区虎ノ門2-1-1  
 ◎〒225 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-9-1 田園多摩寮
- 井上 泰宏(平8) 阪急電鉄株式会社
- 河原 知成(平8) 住友銀行(詳細は未定)  
 実家〒630 奈良市青山1-7-14 ☎0742-26-7767
- 北中 宏一(平8) 神戸大学農学部大学院進学  
 ◎神戸市東灘区…… 住吉寮
- 小柳 勝義(平8) 神戸大学農学部大学院進学
- 鈴木健太郎(平8) 工学部在学中
- 長野 稔(平8) 三洋電機株式会社
- 宮崎 浩司(平8) システム環境計画コンサルタント㈱  
 〒531 大阪市北区大淀南1-10-20 梅田プラスタービル ☎06-452-9661  
 ◎〒581 大阪府八尾市南久宝寺1-11-37 ☎0729-04-2625
- 安井 努(平8)
- 今村美衣子(平8)
- 岡 晶子(平8) 大学院進学
- 坂上 京子(平8) とよす

### 新 入 準 会 員

- 池永 佳子(松蔭女)
- 太田 恵子(松蔭女短)
- 後藤 彩子(松蔭女短)
- 鶴田 理早(松蔭女短)

【お断り】 新卒者は編集時点で赴任先未定等未確定要素多く、不完全な物となりましたが悪しからずご了承願います。

## 編 集 後 記

今年もシーズンに突入し、元気な新入部員も加わって、活気ある練習が六甲台プールで始まりました。部員一同「今年こそ」という気持ちを抱いている毎日です。

今年の凌泳も御寄稿下さったOB諸兄や、青野印刷の方々のお陰で無事できたことにあつくお礼を申し上げます。しかし神戸の町に地震の跡もほとんど消えてしまい、OBの方は落ち着いた生活をしていらっしゃるせいか、御寄稿が少なく多少残念に思われます。更に素晴らしい凌泳にするためにも、次号にはさらに多くのOBの方の御寄稿をお待ちしております。

最後に、会員異動におけます誤りや不足、またその他のお気付きの点がございましたらお知らせ下さい。

(凌泳編集委員)

## 原 稿 募 集

「凌泳」誌は会員相互の連絡と親睦を図り、併せて現役部員とOBとの連繋を強化するための機関誌です。本誌をより楽しいものにするため多数の方々の御投稿をお願い致します。

原稿は400字詰め原稿用紙に横書きで5枚(2,000字)以内を原則とします。ワープロの場合は横書き1行40字に願います。

特に人名や固有名詞は正確・明瞭にお書き下さい。卒業年を付記する場合は、(昭19学)(昭24専)(昭30管)等の形に願います。新制学部略記は、経、管、法、文、理、工、農、教、医、発、国(平成5年度から、発達科学部、国際文化学部が発足しました)とします。

原稿締切は毎年2月末日、発行は5月中旬です。

原稿の送り先は、神戸大学水泳部、または凌泳編集幹事宛に願います。

以上

(凌泳会編集幹事)